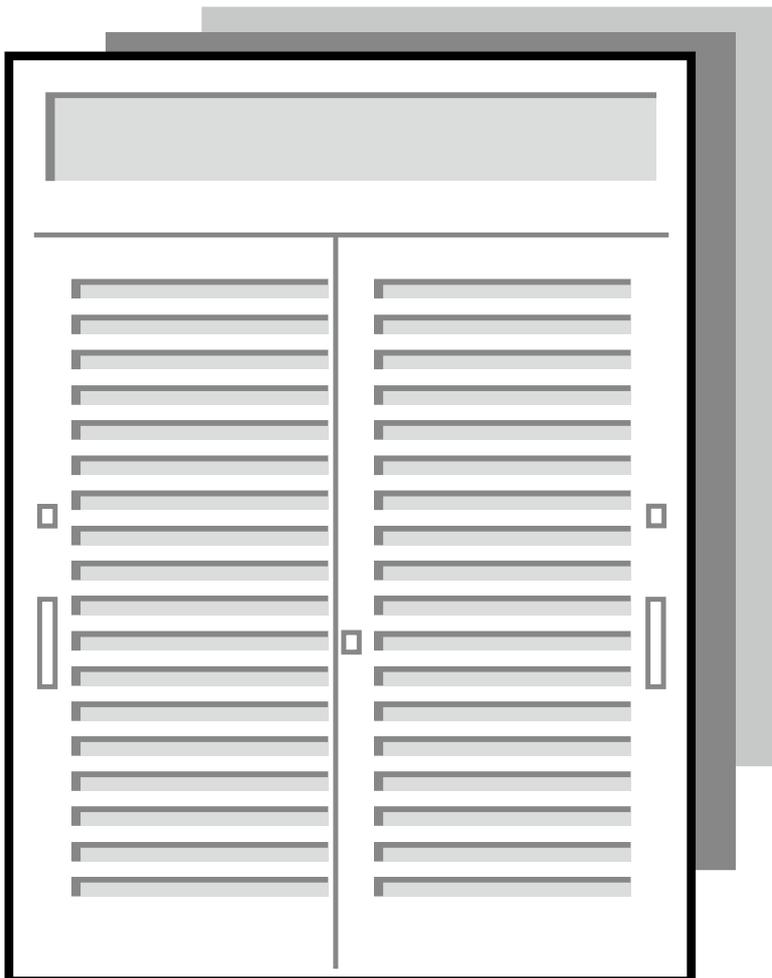


リシエント引戸

取付け説明書



取付けにあたって

- ご使用前に、「取付け説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書に掲載の商品は、使用用途・場所などを限定するもの、専門施工を必要とするもの、定期点検を必要とするものがあります。販売店又は専門施工店にご確認ください。
- 商品には安全にお使いいただくための本体表示ラベルが張ってあるものがあります。ご使用の際はご確認の上、正しくお使いください。

目次

■組立て・取付けされる方へのお願い	1・2
■「リシェント引戸」は	3
■取付け工程モデル	4
■現場取付けまでの準備	5
■納まり参考図	6～9
■部材一覧	10～12
■部材構成図	13
■製品の組立て【PG仕様】	14
■製品の組立て【SG仕様】	15
■製品の取付け	16～31
■取付けチェックポイント集	32～37

組立て・取付けされる方へのお願い

■組立て・取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …組立て・取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 本製品は、木造・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足で障子・枠の脱落の原因になります。
- 躯体に取付ける際は、枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時、 $1.2\text{N} \cdot \text{m}$ ($12\text{kgf} \cdot \text{cm}$) 以上にしてください。
製品強度の不足で障子・枠の脱落の原因になります。
- 下枠段差緩和材の取付けは注意事項をお守りください。両面テープの接着力が低下し、下枠段差緩和材が外れ、思わぬケガをするおそれがあります。
- 既設枠に取付ける際は、強度保持のため、新しい枠と既設枠のかかり寸法を 68mm 以上にしてください。
製品強度の不足で、障子・枠脱落の原因になります。
- かい物を入れる場合は、十分に強度が保てるものを使用してください。製品強度の不足で、障子・枠脱落の原因になります。

■組立て上のおお願い

- ガラス寸法は、カタログの寸法割出公式より算出してください。
- 必ず指定のねじで組立てしてください。
- 枠の組立てねじは $2.5 \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$) の締め付けトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用 L アングル（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。

■取付け上のお願

- 必ず指定の取付けねじで固定してください。
- 現場取付けに入る前に製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- 内外の額縁は現場の納まりに合わせて切詰めてください。

〔ねじかかり寸法の確認〕

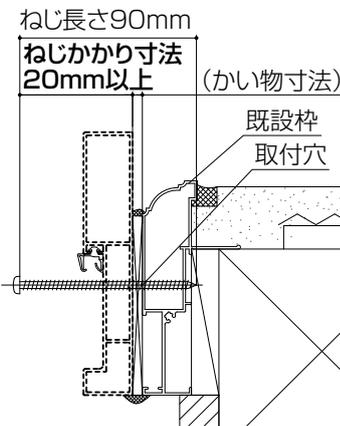
躯体にねじ止めする前に、既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが20mm以上であることを確認してください。

※ねじ長さ 90mm

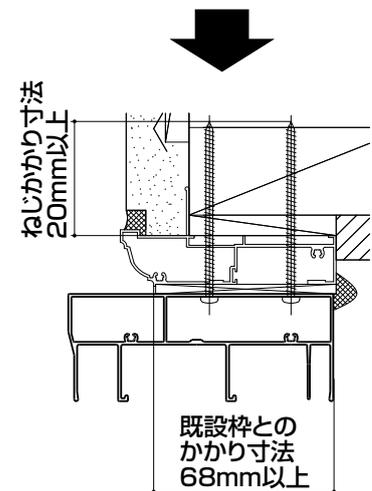
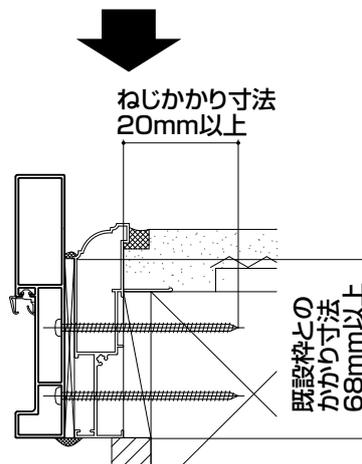
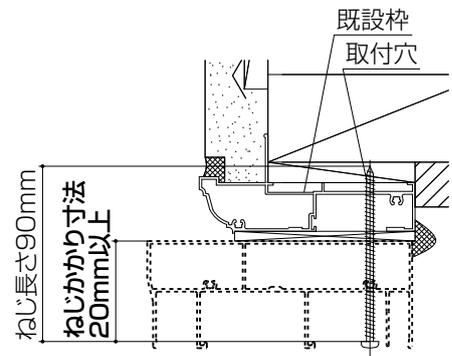
▲注意

- 製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。

(縦枠の場合)



(上枠の場合)



〔取付ける柱のねじ込みトルクの確認〕

製品を取付ける前に取付ける柱に腐りがなく、枠の取付けねじのねじ込みトルクが1.2N・m (12kgf・cm) 以上であることを確認してください。

▲注意

- 躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時、1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。
- 既設枠に取付ける際は、強度確保のため、新しい枠と既設枠のかかり寸法を68mm以上にしてください。

「リシエント引戸」は…

- 『リシエント引戸』は、既設の引戸（※ 1）の上から新しい枠を取付ける、改装専用玄関引戸として設計されています。

（※ 1）トステム対象商品名

菩提樹	寿福
籐樹	ロイヤル玄関引戸
エルミナ	ロイヤル千本
一番町	太陽玄関格子 AB 型
花伝	太陽玄関 N 型
光悦	太陽玄関格子
越天	ニュー穂高

（※ 2）その他商品

上記以外の商品については、柱へのねじかかり寸法が 20mm 以上の商品のみを対象とします。

■製品特長

1. 枠の取外し及び付帯工事が不要なため、外壁や内装をキズつけません。
2. 部材の加工・組立てが簡単です。
3. 内外の額縁に調整幅が設けてあるため、どんな枠にもきれいに納まります。
4. 内外の額縁の調整とシーリングだけで、雨仕舞いなどの仕上げが完了します。
5. 品揃えが豊富です。

取付け工程モデル

取付け工程

概要

お施主さまとの打合わせ

- 現場を確認し、既設玄関への取付可否を調査します。
- 使用する製品のタイプを決定・見積りし、工事希望日を確認します。
- 製品を発注し、納入日を確認後工事日を決定します。

取付け前の作業

- ガラス・ビード・別途有償品を手配します。

製品の組立て

- 工事日までに製品を組立てます。

既設ドアの取外し

- 製品基本寸法が現場に合うことを確認します。
- 工具を準備し、外枠だけ残して順に取外します。

新しい枠・ドアの取付け

- 開口部の水平・垂直を正しく出し、新しい枠と障子を取付けます。
- 建付け調整をします。

枠外周部のシーリング処理

- 雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。
- ※シーリング箇所は納まり参考図を参照してください。

額縁の取付け

- 納まりに合わせて、額縁を切詰めます。
- 納まりに合う位置に、額縁を取付けます。
- 溝ふたを取付けます。

額縁外周部のシーリング処理

- 雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。
- ※シーリング箇所は納まり参考図を参照してください。

ガラス入れ・部品の取付け

- ガラスを入れ、部品などを取付けます。

お引渡し

- お施主さまに製品を引渡します。

現場取付けまでの準備

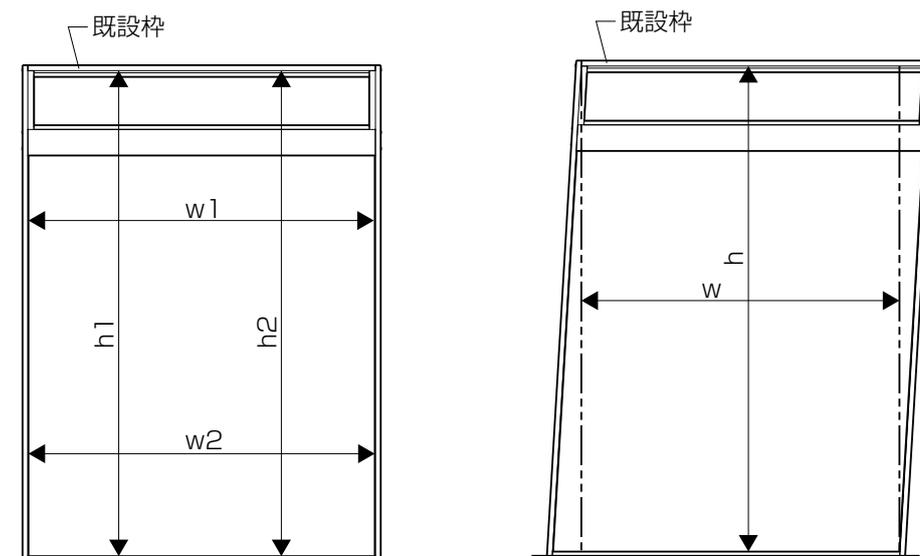
1. 既設枠開口寸法の測定と取付可否の調査

※巻末の取付けチェックポイント集に従い、既設玄関への取付可否を調査します。

- ①既設枠の断面形状を確認します。
- ②「取付けチェックポイント集」(巻末)を参考に既設枠開口の $w1 \cdot 2$ と $h1 \cdot 2$ を測定し、小さいほうを既設枠開口寸法とします。

※下図のように既設枠に狂いがある場合は、水平・垂直をみて寸法を測ってください。

- ③既設枠開口寸法より10mm程度小さく製品基本寸法を設定します。(調整が必要な場合は、かい物をご使用ください。)



2. 枠のタイプ、障子デザインの決定

●取付可能であれば、製品基本寸法を設定し下記項目を決定します。

※単品カタログをご使用ください。

- ①**枠のタイプ** (PG仕様、SG仕様、ランマなし、ランマ付き、製品色)
- ②**障子のタイプ** (デザイン・製品色)
- ③**外額縁・内額縁のタイプ** (大・中・小)
- ④**工事費の見積り** (既設障子の取外し・製品の切詰め・組立て・取付け費・ガラス代など)
- ⑤**工事日**

※本製品は枠・障子の切詰めができませんので、特注にて発注してください。

3. ガラス・別途有償品の手配

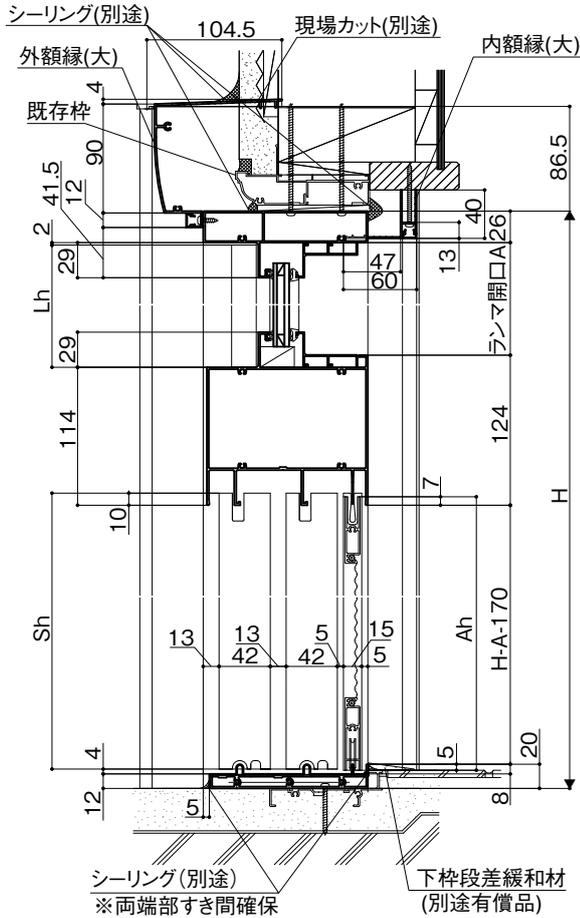
- ①カタログの寸法割出公式よりガラス寸法を算出します。
- ②工事日に合わせて、ガラス・別途有償品を手配します。

納まり参考図

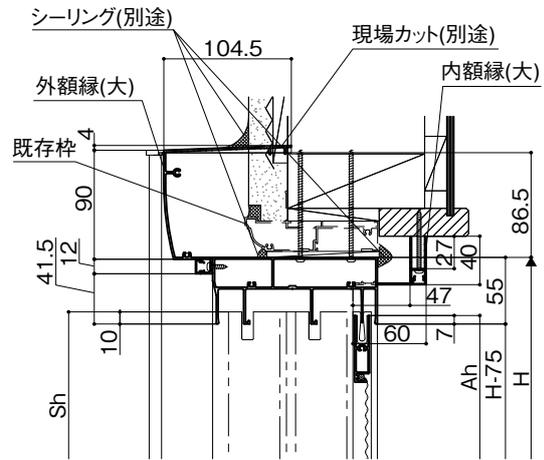
■アルミ枠納まり (PG仕様)

●本体部 (縦断面図)

〔ランマ付き〕

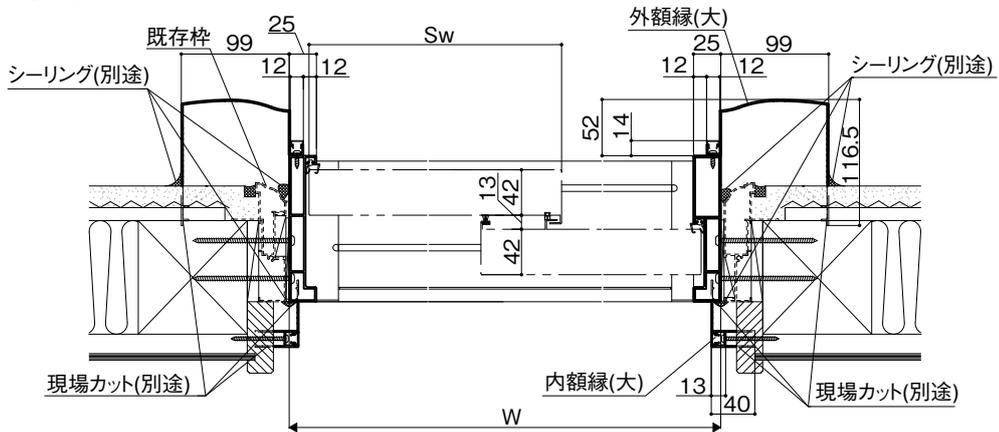


〔ランマなし〕



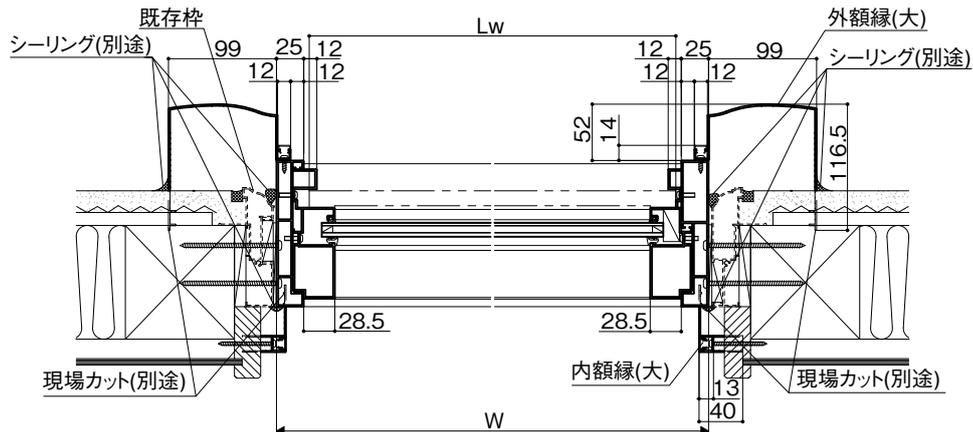
●本体部

(横断面図)



●ランマ部

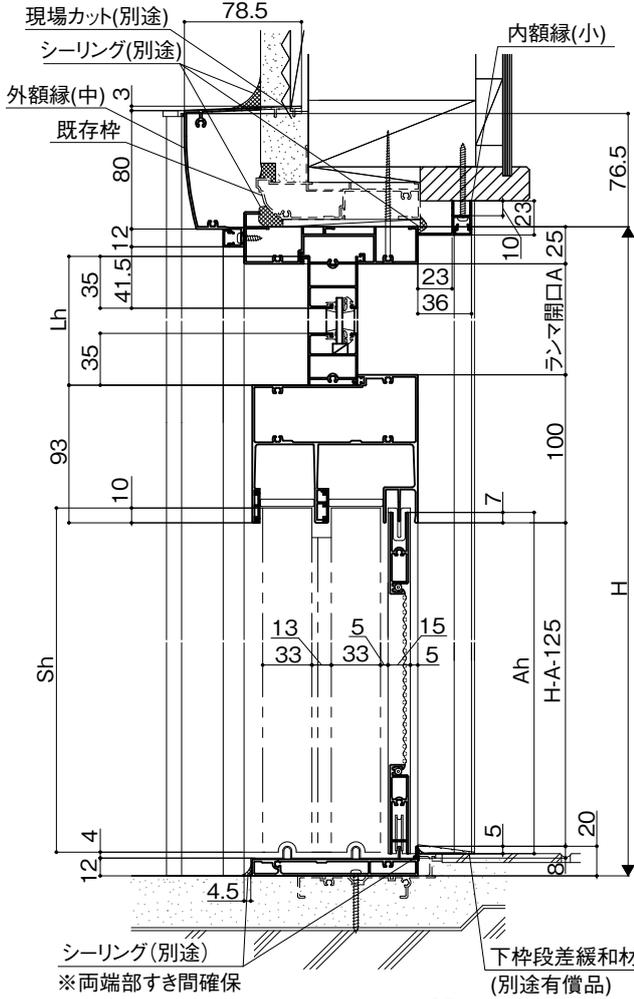
(横断面図)



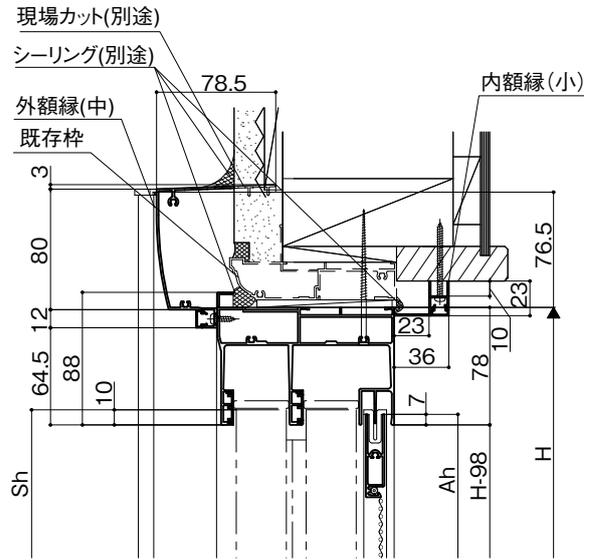
■アルミ枠納まり (SG仕様)

●本体部 (縦断面図)

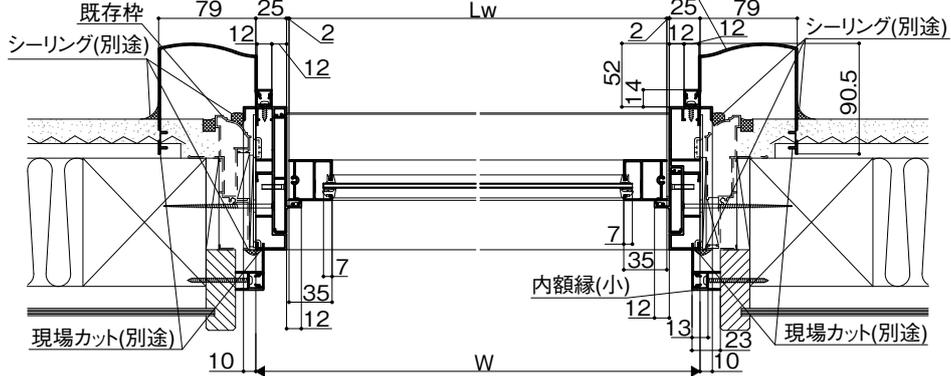
[ランマ付き]



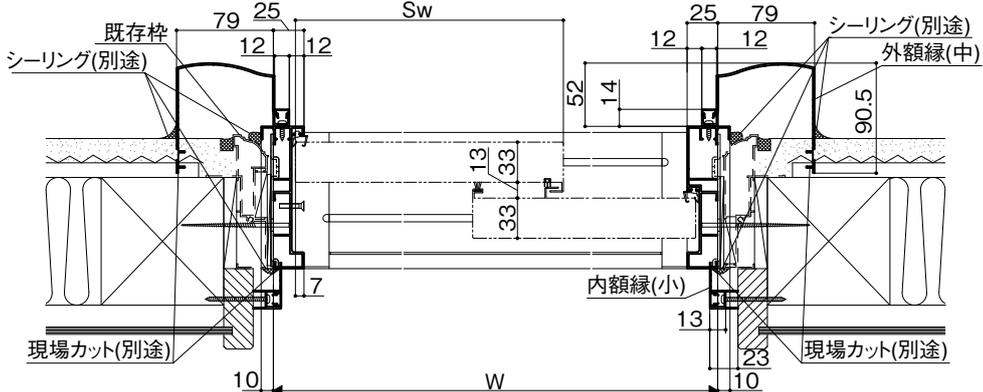
[ランマなし]



●本体部 (横断面図)



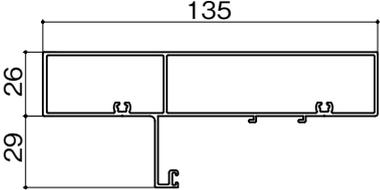
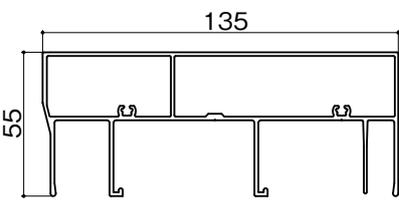
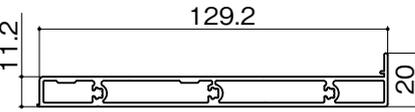
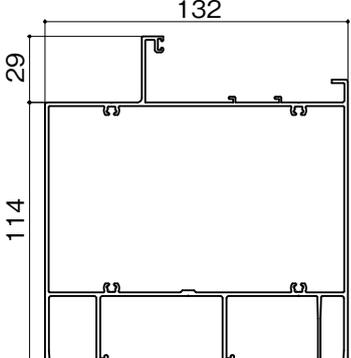
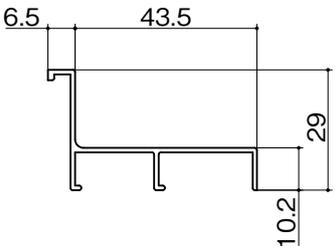
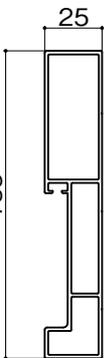
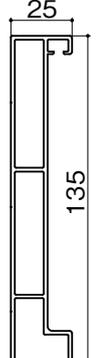
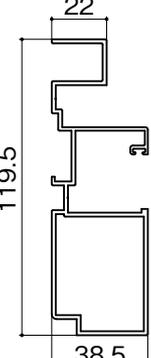
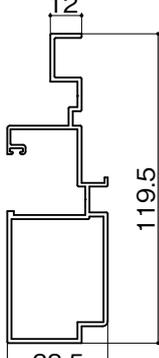
●ランマ部 (横断面図)



部材一覧

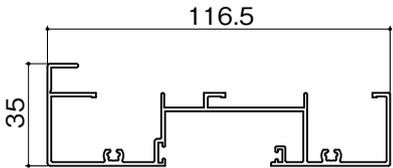
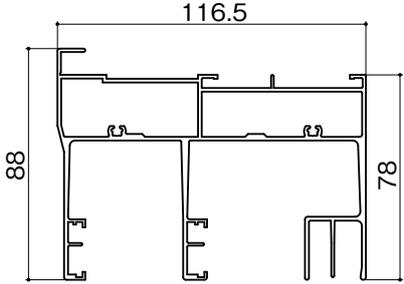
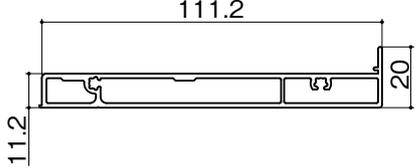
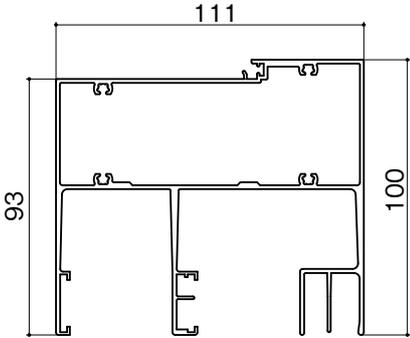
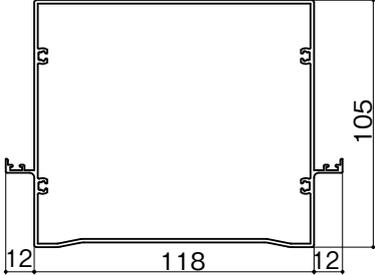
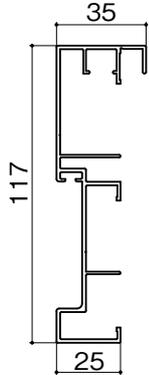
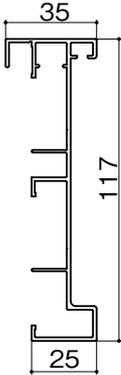
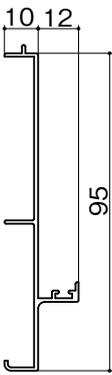
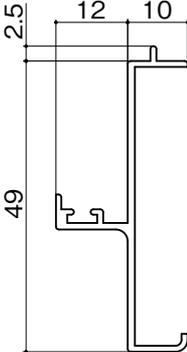
■部材一覧 (PG仕様)

●枠

<p>ランマ上枠</p> 	<p>ランマなし上枠</p> 	<p>下 枠</p> 
<p>無 目</p> 	<p>ランマ押縁</p> 	<p>右縦枠</p> 
<p>左縦枠</p> 	<p>ランマアタッチメント (左)</p> 	<p>ランマアタッチメント (右)</p> 

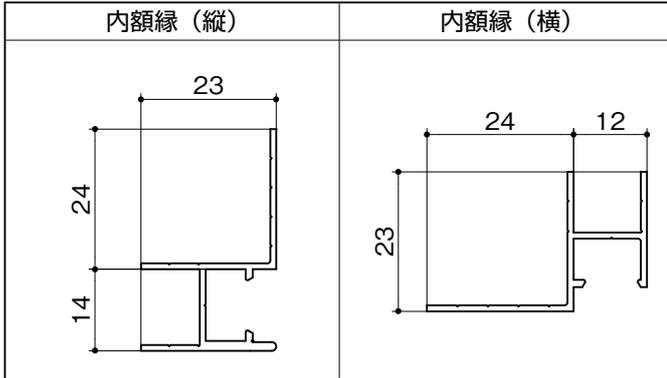
■部材一覧 (SG仕様)

●枠

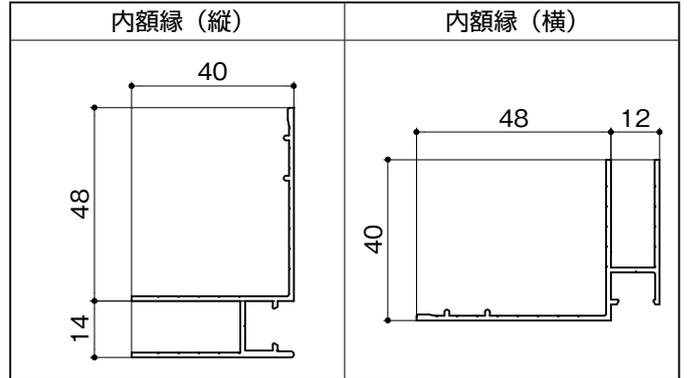
<p>ランマ上枠</p> 	<p>ランマなし上枠</p> 	<p>下 枠</p> 
<p>無 目</p> 	<p>吊束</p> 	<p>右縦枠</p> 
<p>左縦枠</p> 	<p>ランマアタッチメント A</p> 	<p>ランマアタッチメント B</p> 

■部材一覧 (PG・SG 共通)

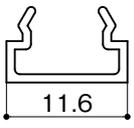
●内額縁 (小)



●内額縁 (大)

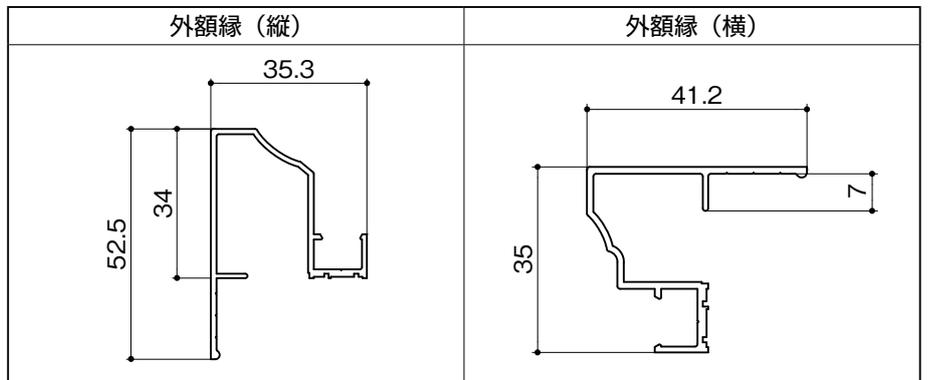


溝ふた

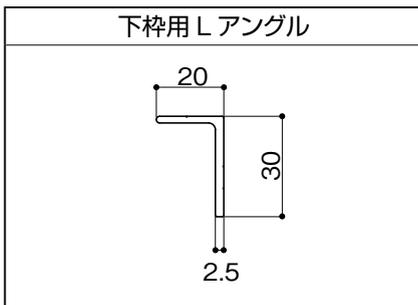


※内額縁 (大)・
外額縁も兼用

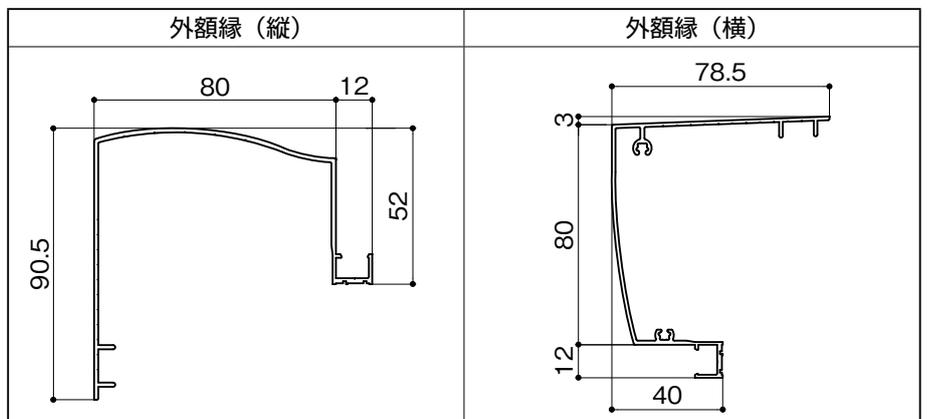
●外額縁 (小)



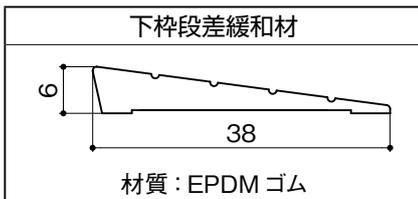
●下枠用 L アンクル (別途有償品)



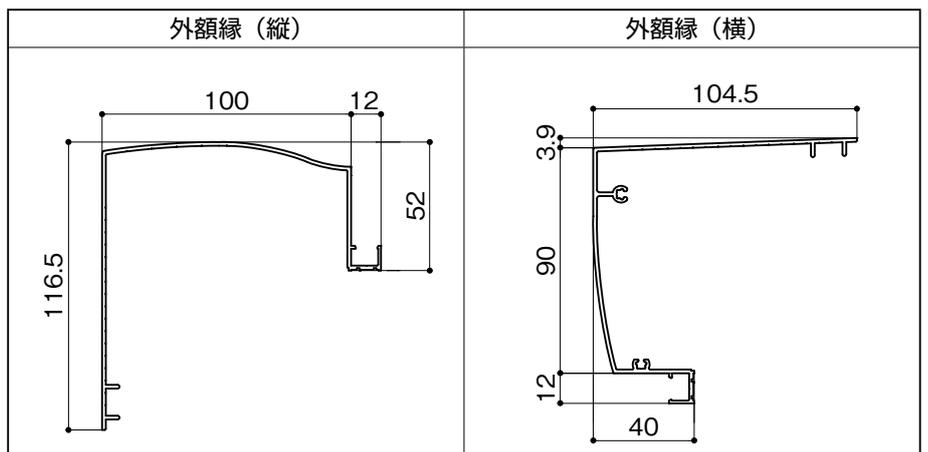
●外額縁 (中)



●下枠段差緩和材 (別途有償品)



●外額縁 (大)

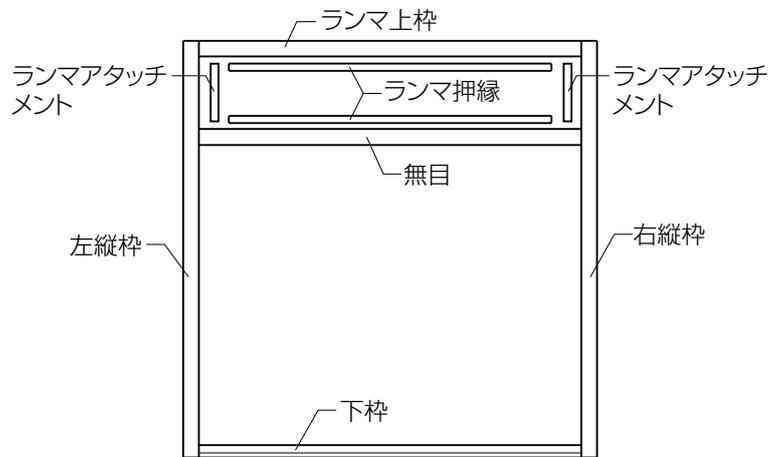


部材構成図

■部材構成図（PG仕様）

■2枚建

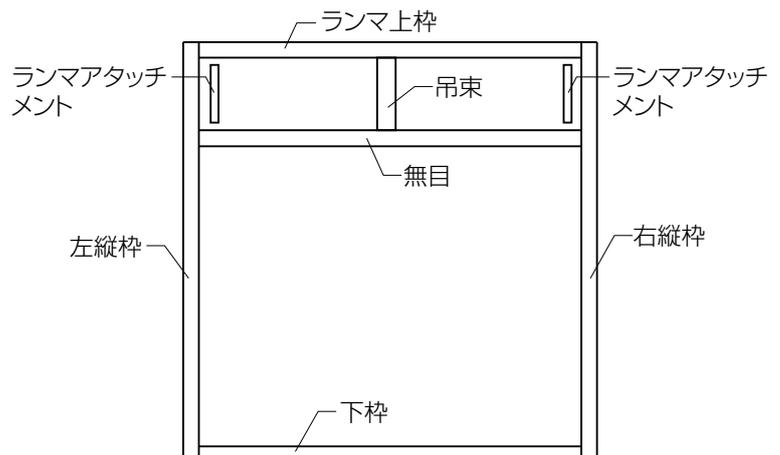
- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、ランマ押縁はありません。



■部材構成図（SG仕様）

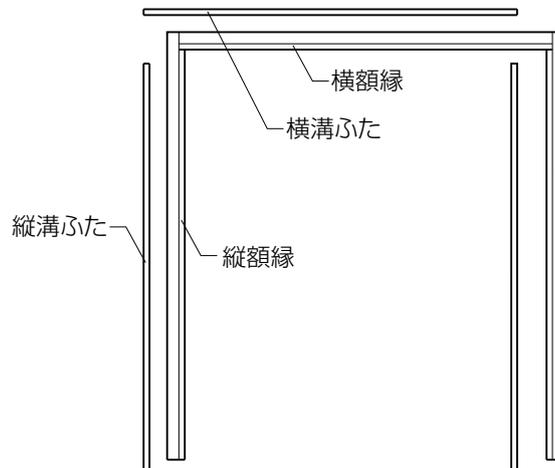
■2枚建

- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、吊束はありません。（吊束はランマ付き W ≥ 2357 の場合のみとなります。）



■部材構成図（PG・SG仕様共通）

■内額縁・外額縁



製品の組立て【PG仕様】

■組立てされる方へのお願い

- 必ず指定のねじで固定してください。
- 枠の組立てねじは、 $2.5 \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$ } の締付けトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用Lアングル（別途有償品）を下枠組立て時に取付けてください。（P.30）

■部品・ねじ一覧表（PG枠組立て用）

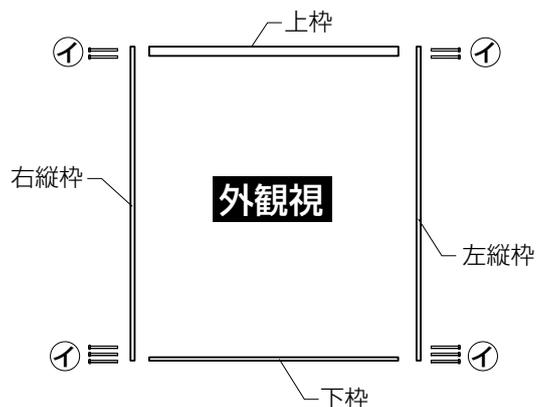
①	②
	
バインドタッピン ねじφ4×45	薄平タッピンねじ M4×8

■組立て順序

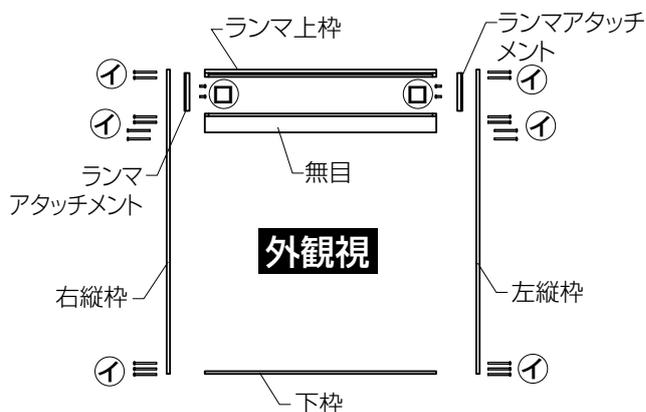
■枠の組立て

- 図に従って枠を組立てます。
- ※図中①～②は、ねじの種類を表します。

〔ランマなし枠〕



〔ランマ付き枠〕



- ※ランマ付き枠の場合、上枠を最後に組立ててください。
- 無目が最後だと組立てにくくなります。
- ※ランマ飾りの取付けはランマ飾りに同梱の取付け説明書をご覧ください。

製品の組立て【SG仕様】

■組立てされる方へのお願い

- 下枠組立ての際、絶縁ボスを下枠固定穴φ7に入れて固定してください。組ズレが発生し、腐食・障子の開閉が重くなる原因になります。
- 必ず指定のねじで固定してください。
- 枠の組立てねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } の締付けトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用Lアングル（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。（P.30）

■ねじ一覧表

㊦	㊧
	
バインドタッピングねじ φ4×45	絶縁ボス付きバインド 小ねじM4×25

■吊束固定用金物（吊束ありの場合のみ）

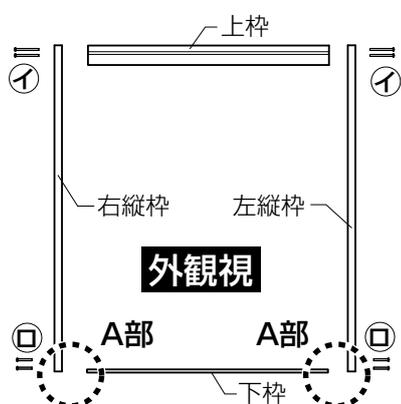
㊨	㊩	㊪	㊫
			
吊束固定金具	バインドタッピングねじ φ4×50(止水ワッシャー付)	バインド小ねじ M4×14	皿小ねじ M4×14(D8)

■組立て順序

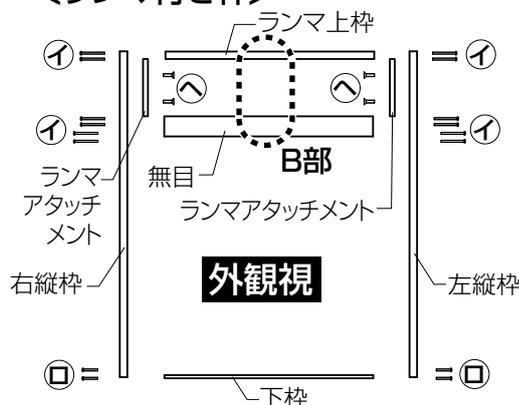
■枠の組立て

- 図に従って枠を組立てます。
- ※図中㊦～㊫は、部品・ねじの種類を表します。

〔ランマなし枠〕

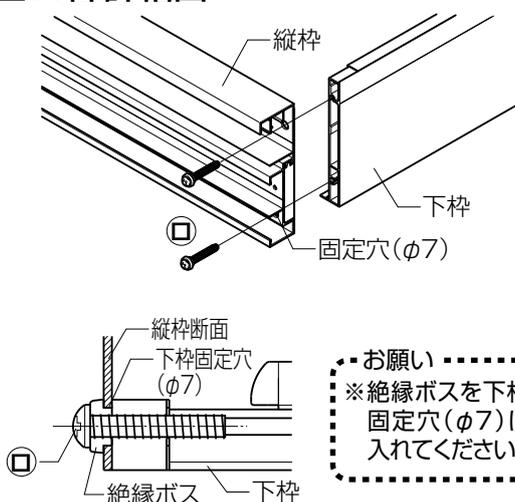


〔ランマ付き枠〕



- ※ランマ付き枠の場合、上枠を最後に組立ててください。
- 無目が最後だと組立てにくくなります。
- ※ランマの取付けはランマに同梱の取付け説明書をご覧ください。

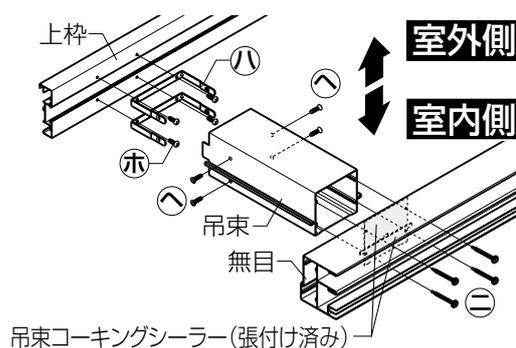
■A部詳細図



お願い
※絶縁ボスを下枠固定穴(φ7)に入れてください。

■B部詳細図（吊束ありの場合のみ）

- ①吊束固定金具を上枠に固定します。
 - ②吊束を金具に合わせて差込み、ねじ止めします。
 - ③無目の取付け加工部を吊束のタッピングホール部に合わせてねじ止めします。
- ※コーキングシーラーの向きに合わせて吊束を取付けてください。



製品の取付け

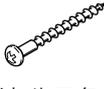
▲ 注意

- 本製品は、土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足で障子・枠の脱落の原因となります。
- 躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時 1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。製品強度の不足で障子、枠の脱落の原因となります。

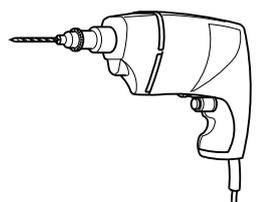
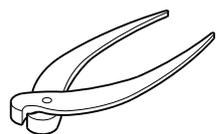
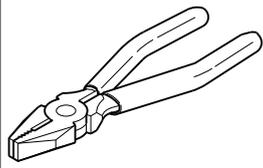
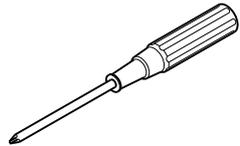
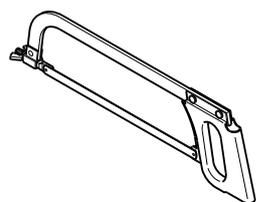
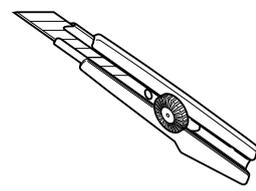
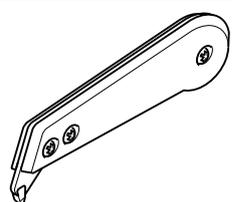
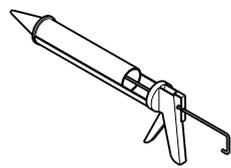
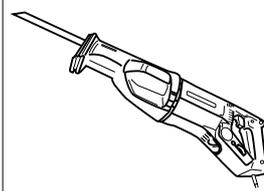
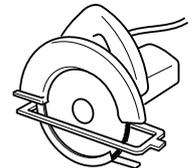
- 現場取付けに入る前に、製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- 必ず指定の取付けねじで取付けてください。
- 内外の額縁は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

■取付けねじ一覧表

※取付けねじ本数は、取付け穴より多めに入っている場合があります。

①	②	③	④	⑤
上枠・縦枠用 (PG 仕様)	上枠・縦枠用 (SG 仕様)	穴ふさぎ用 (PG 仕様のみ)	下枠取付け用	下枠ステンスレール取付け用
				
なべタップンねじ φ 4 × 90 (1 種)	皿タップンねじ φ 4 × 90 (D7)	プッシュボタン	なべセルフタップン アンカーねじ φ 4 × 40	薄平タップンねじ φ 4 × 8

■使用工具一覧表

電動ドリル・電動ドライバー	くい切り	ペンチ	プラスドライバー	鉄ノコ
				
カッター	プラスチックカッター	コーキングガン	セーバーソー	丸ノコ
				

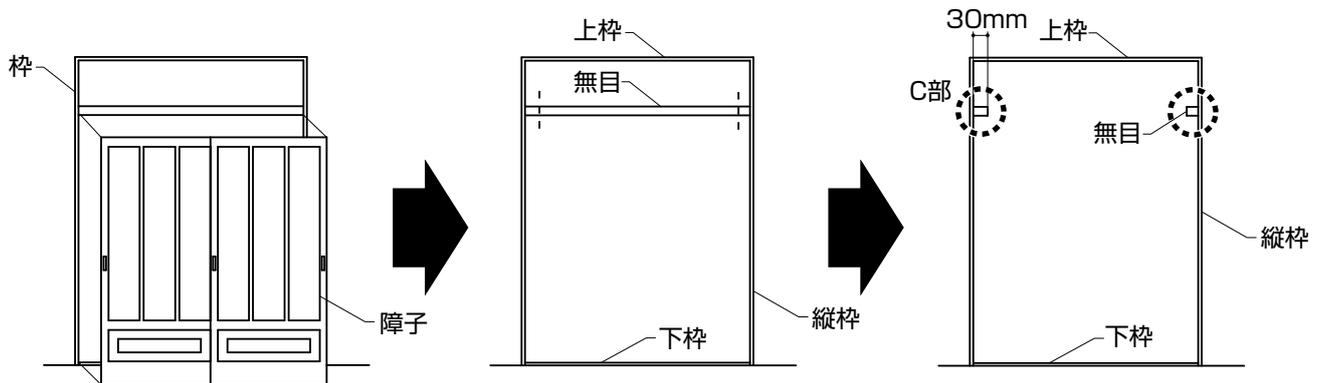
※その他工具

■既設障子の取外し

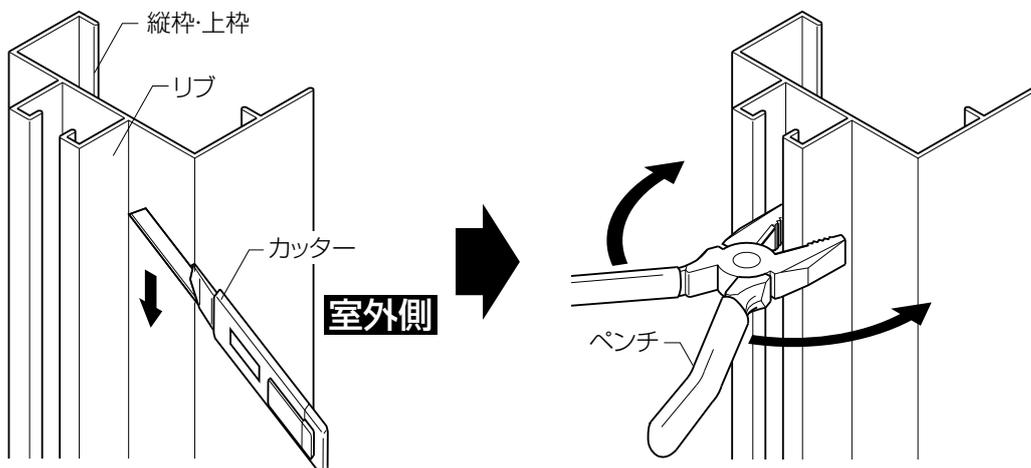
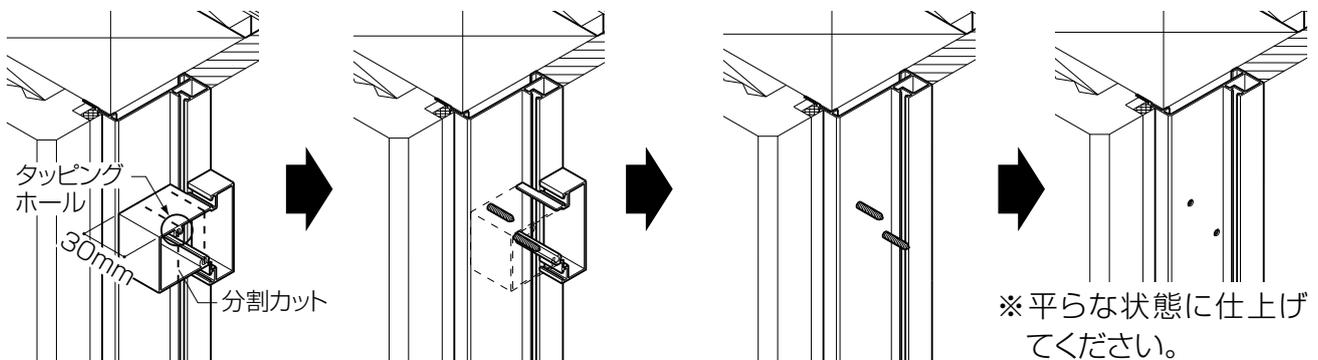
- ①既設の障子、押縁、ガラス、戸当りゴム、ストライク、障子ストッパー、網戸ストッパー、下枠レールを取外します。
- ②無目を切断して取除き、外枠（上枠・縦枠・下枠）のみ躯体に残します。

〔既設枠がアルミ型材の場合〕

- ①無目は、縦枠・下枠などとの連結部から約30mm残して切取ります。
- ②切り残した部材は、タッピングホール付近を分割して取りやすい状態にして外します。
- ③外枠に残ったねじを、くい切りなどで切断します。
- ④取付けに支障のあるリブが縦枠・上枠にある場合は（下図）、室外側のリブの付け根にカッターなどにて強く押当ててキズをつけ、ペンチで折取ります。



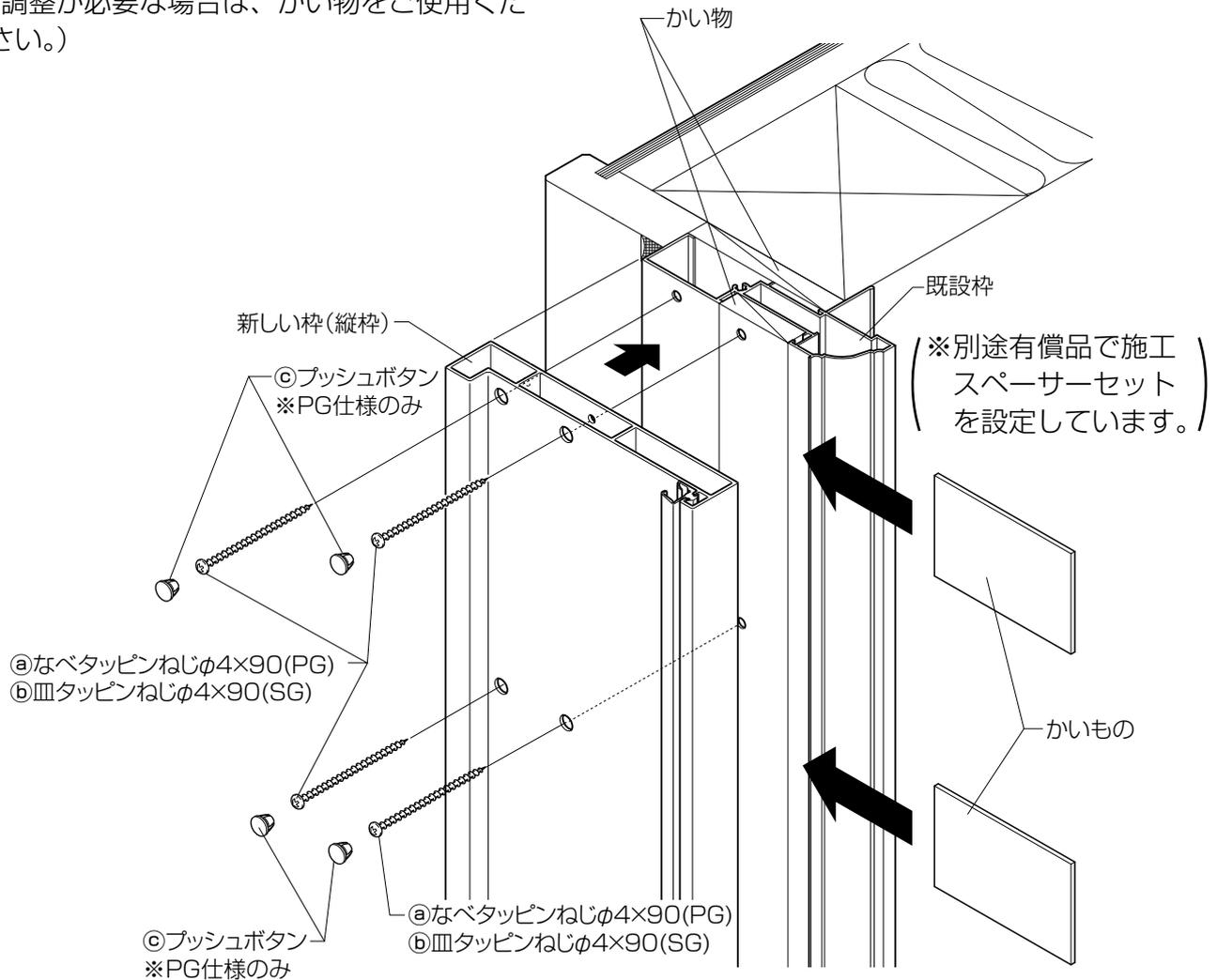
■C部詳細図



■新しい枠の取付け

- ①新しい枠の水平・垂直を正しく出します。
(調整が必要な場合は、かい物をご使用ください。)

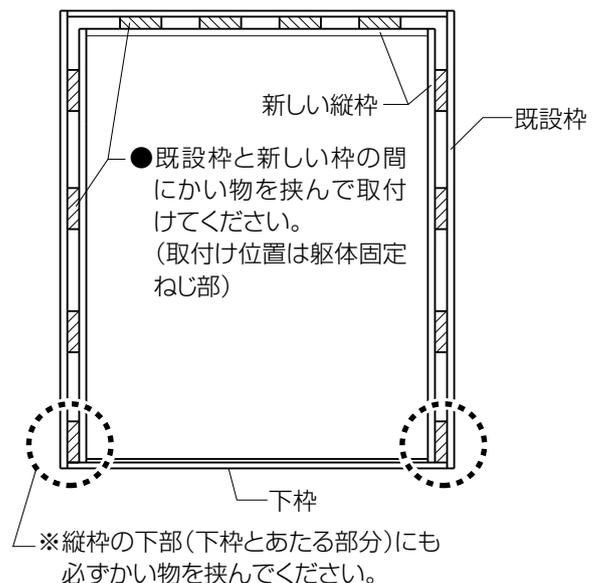
●縦枠側



▲注意

- 躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。障子・枠の脱落の原因になります。

- ②取付け位置決定後、新しい枠(上枠・縦枠)の取付け穴より、既設枠にφ4.5、躯体にφ3の下穴をあけ、仮止めします。
③室内側躯体取付けねじから順に指定のねじで取付けます。



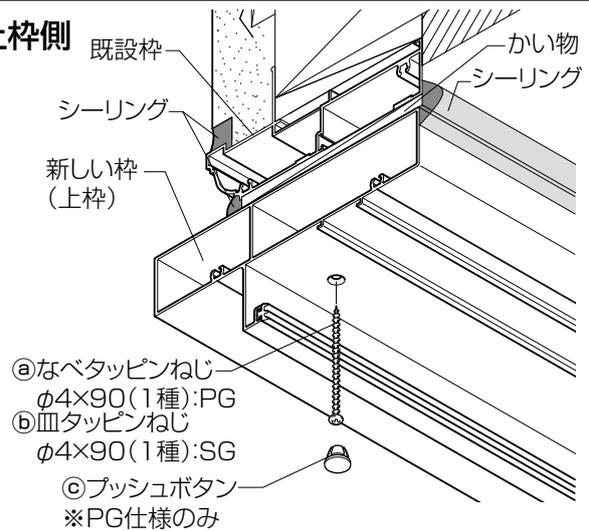
④⑤プッシュボタンをはめ込みます。

⑤既設枠と新しい枠の接合部にシーリング材を
充てんします。

▲注意

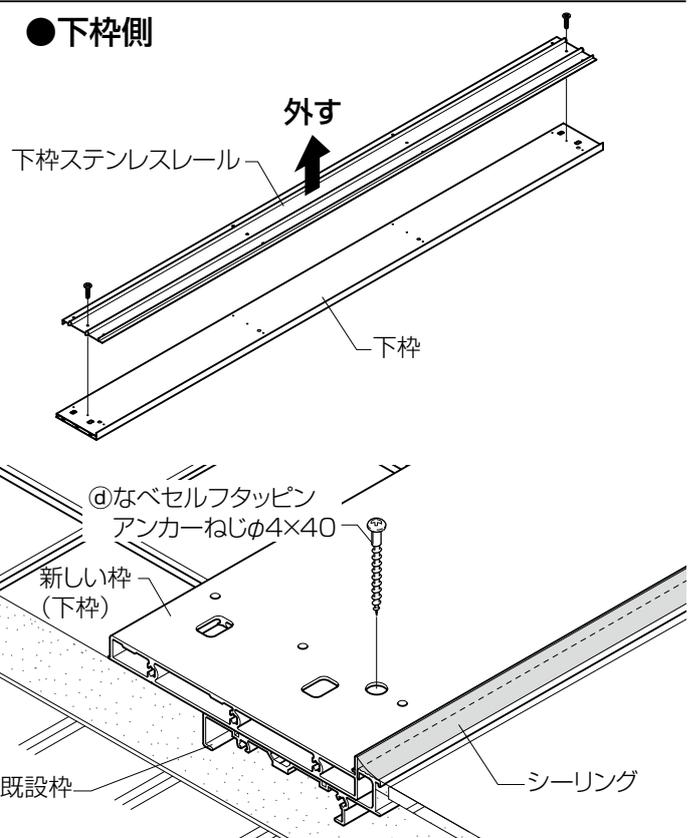
●外壁工事を伴わない取付けの場合は、
指定の箇所シーリング材を充てん
してください。漏水の原因となります。

●上枠側



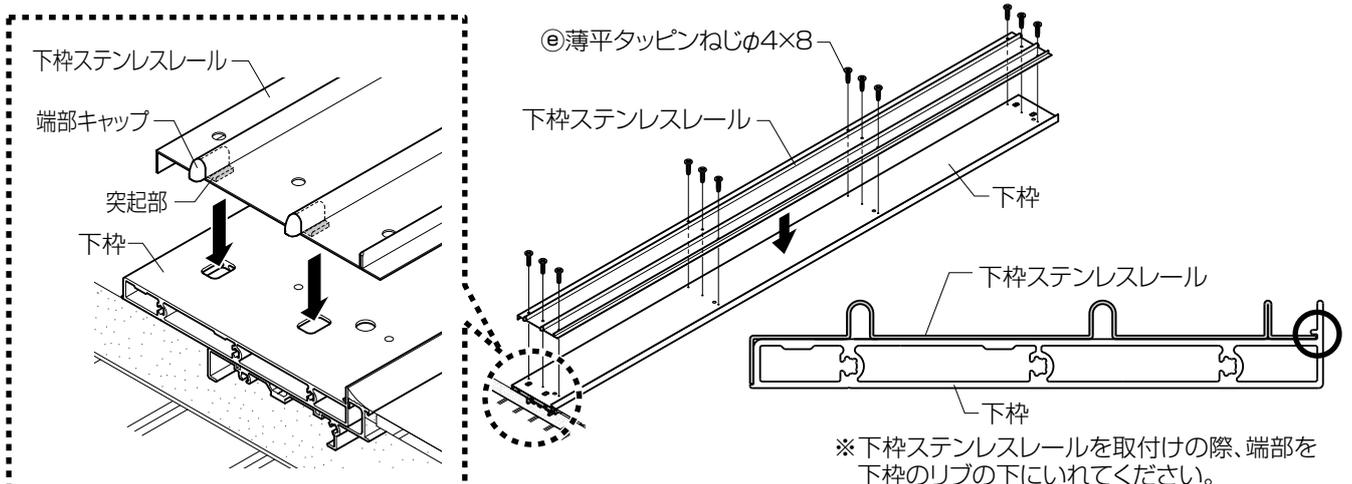
⑥下枠から下枠ステンスレールを取外します。
(出荷時、下枠ステンスレールは下枠に2カ所
ねじで固定されています。)

●下枠側

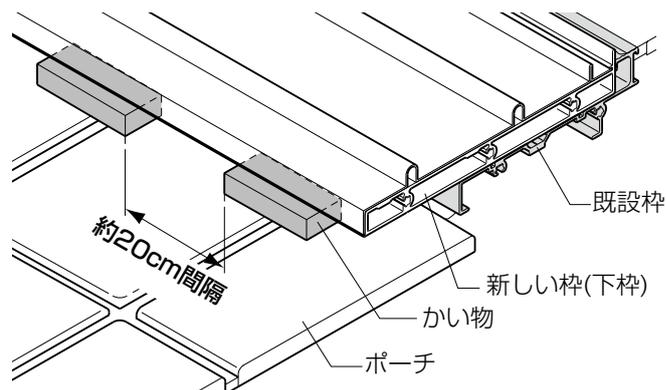


⑦下枠の取付け穴から既設下枠にφ 3.5 の下穴
をあけ、④なべセルフタッピンアンカーねじ
φ 4 × 40 で固定します。

⑧下枠ステンスレール端部キャップをレール端部に差込んだ状態で、キャップの突起部を下枠の加工
にはめ合わせ、⑤薄平タッピンねじで固定します。

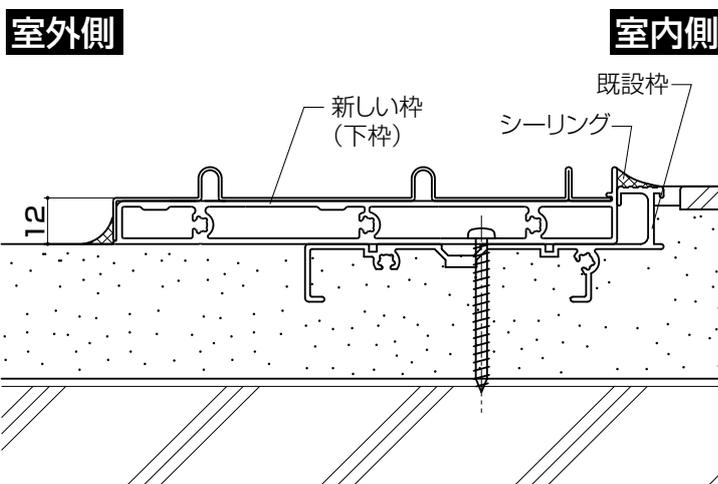


⑨下枠のたわみ防止のため、下枠と既設枠とのすき間にかい物を入れます。



⑩既設枠と新しい下枠の接合面（室内側）および、下枠（室外側）にシーリング材を充てんします。

※下枠部（室外側）については全面シーリングをせず、両端部から水が抜けるようにすき間を確保してください。



▲ 注意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

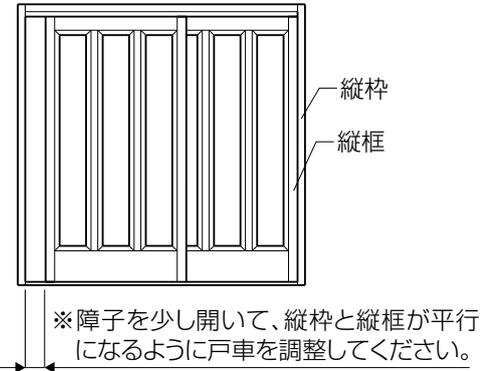
※ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用Lアングル（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。（P.30）

障子の調整

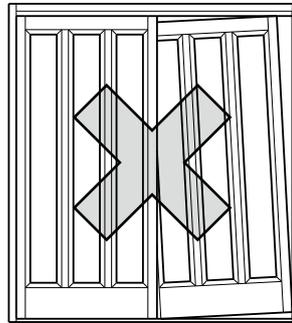
障子の建付け調整（戸車の調整）

●戸車は、障子が最も下がった状態になるようにセットされています。

（戸車調整幅 SG・PG：上方に約 5mm）



【傾き状態】



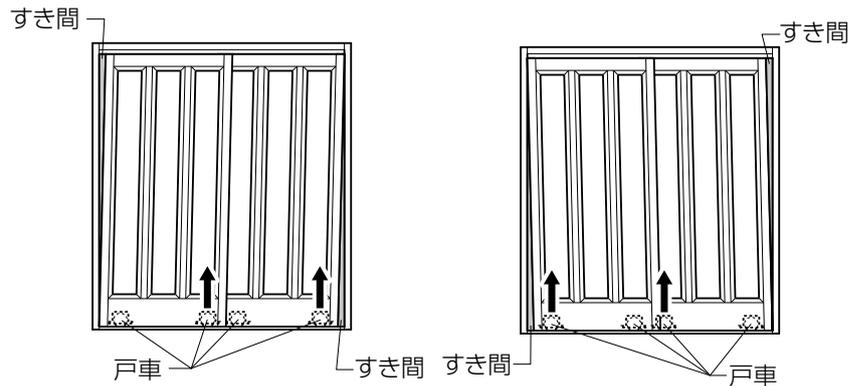
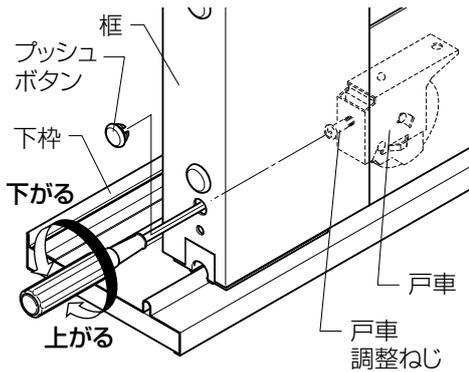
お願い

※縦枠と縦枠が平行でない場合以外は、戸車調整をしないでください。戸車を両方とも上げた状態にするとすき間が大きくなり、すき間風や砂ホコリが入りやすくなります。

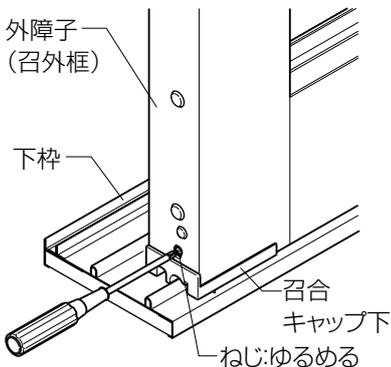
戸車の調整（戸車の調整）

●障子の納まりが悪い（縦枠と縦枠が平行でない）場合は、戸車調整ねじを回して障子の傾き・ズレを直し、縦枠と縦枠が平行になるように調整してください。

（戸車調整幅 SG・PG：上方に約 5mm）



召合キャップ下の調整 （召外・召内）：PG



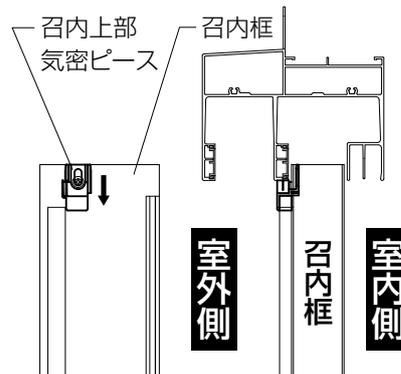
●障子を閉めた状態で召外・召内の下部キャップのねじをゆるめて下げ、下枠に気密ヒレを当ててねじを締めます。（ヒレ保護のため、召外・召内の下部キャップは出荷時に上げてあります。必ず下げて、すき間をなくしてください。）

召合気密ピースの調整 （召外・召内）：SG

●障子を閉めた状態で下部キャップ・気密ピース取付けねじをドライバーでゆるめて、ヒレが図のように当たる設定となるように調整してください。

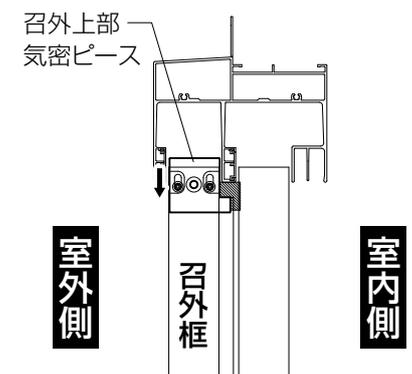
〈手動〉

【召内上部気密ピースの調整】



〈手動以外〉

【召外上部気密ピースの調整】



■内額縁の取付け

※内額縁は、(大)・(小) 2種類あります。現場の納まりに合わせて選択した部材を取付けてください。

■内額縁の切詰め

①現場の納まりに合わせて、内額縁を必要な長さに切詰めます。

※内額縁は H、W で発注した場合、

(大)：内額縁 H = H + 39、内額縁 W = W + 5

(小)：内額縁 H = H + 22、内額縁 W = W + 5
の設定です。(P.37 参照)

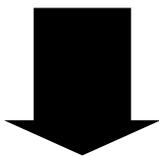
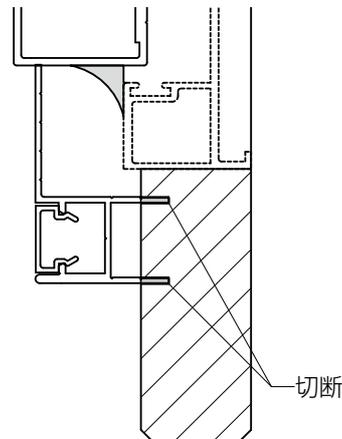
②既設の室内額縁の納まりに合わせて、内額縁を必要に応じて切断します。

【切断方法1】…丸のこを使用する場合

●納まりに合う位置に印を付け、丸のこで切断します。

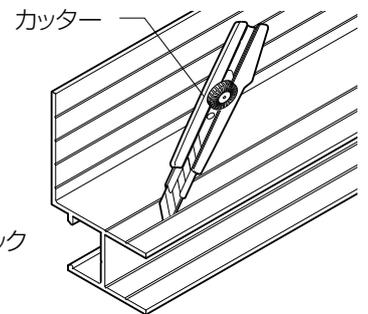
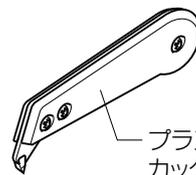
【切断方法2】…カッター・ペンチを使用する場合

●内額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッターなど）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ型材の厚みを6割以上切込んでください。



●ペンチ（モンキーレンチなど）で下図のように3段階の角度にわけて折り曲げます。

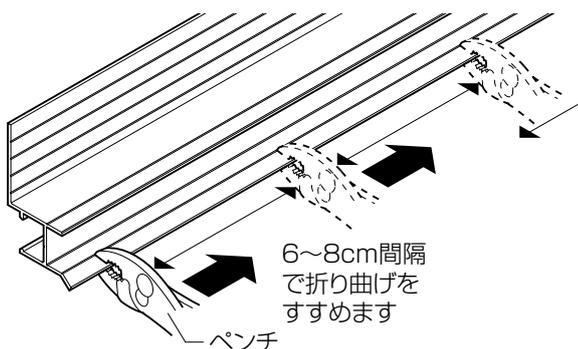
①段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。同じように②段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、③段目まで折り曲げて切離します。木目色の場合、最後に木目シート1枚でつながっている状態になってからカッターで木目シートを切離してください。



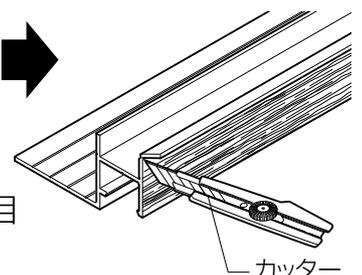
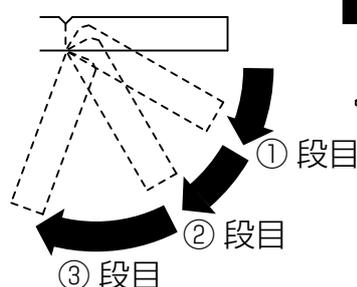
お願い

※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみの発生や、木目色の場合木目シートがはがれるおそれがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。

※サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。木目シートやアルミ表面が焼けるおそれがあります。



3段階の角度にわけて部材の端から端まで折り曲げます



2 内額縁の取付け

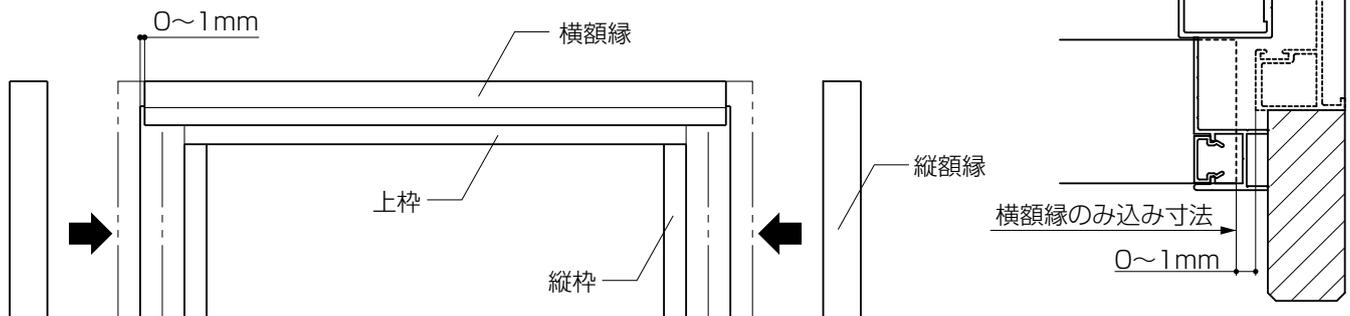
※㉓丸木ねじφ 3.8 × 32 (㉔φ 3.8 × 50) で取付けます。

- ①既設枠が隠れるようにし、下図の位置に横額縁を取付けます。
- ②横額縁に溝ふたを取付けます。
- ③既設枠が隠れるようにし、切欠き部を横額縁にはめて縦額縁を取付けます。
- ④縦額縁に溝ふたを取付けます。

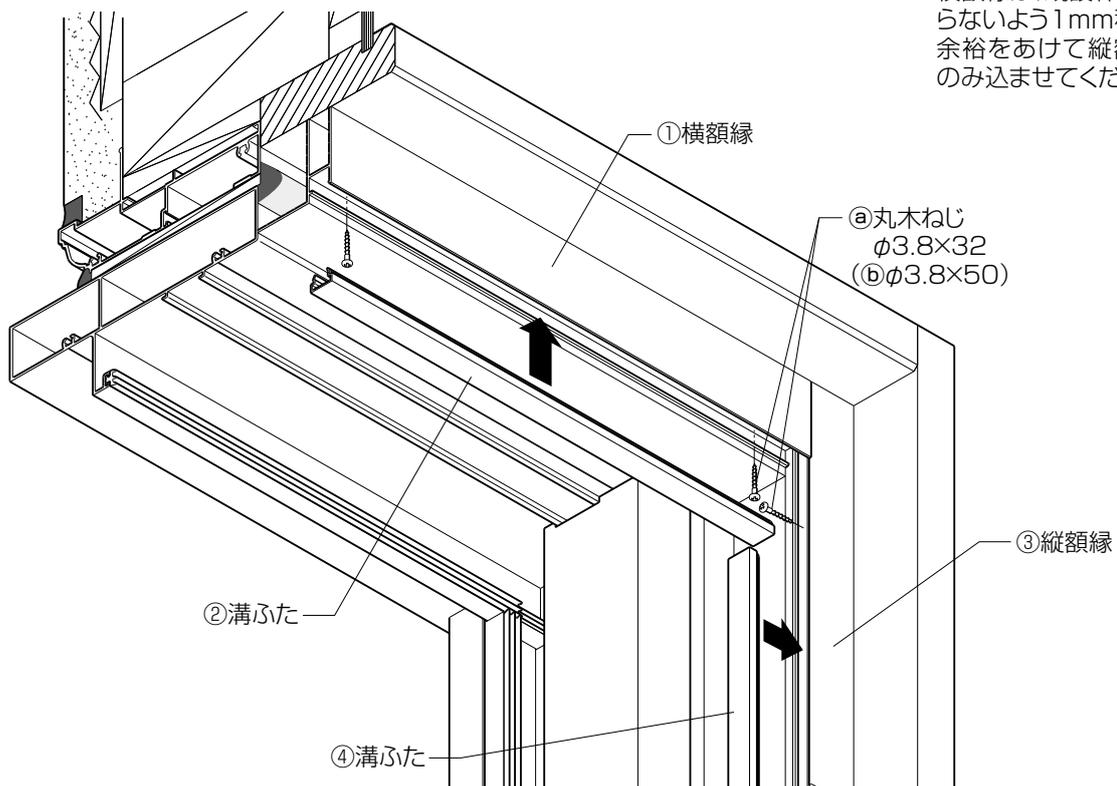
※溝ふたは完全にはめ込んだことを確認してください。

■使用ねじ一覧

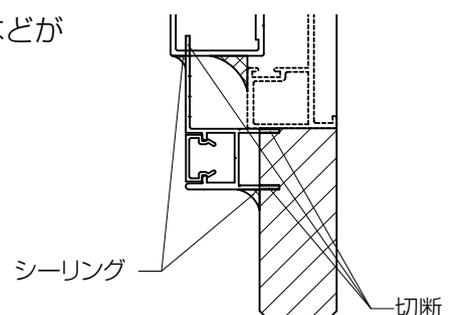
㉓	㉔
内額縁 (小) 取付け用	内額縁 (大) 取付け用
	
丸木ねじφ 3.8 × 32	丸木ねじφ 3.8 × 50



※横額縁は、既設枠にあたらぬよう1mm程度の余裕をあけて縦額縁にのみ込ませてください。



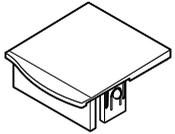
※内額縁を切断し、切り口が目立つ場合や、既設の室内額縁などが反っている場合は、シーリングで隠してください。



■外額縁（中）（大）の取付け

※外額縁は、大・中・小の3種類あります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。

■使用ねじ一覧

①	②	③	④	⑤
額縁取付け用	額縁組立て用	額縁キャップ	穴ふさぎシール (φ15)	プッシュボタン
				
なべドリルねじ φ4×13	なべタッピンねじ φ4×90			

■外額縁の切詰め

①現場の納まりに合わせて、外額縁を必要な長さに切詰めます。

※外額縁は H、W で発注した場合、

(中) : 外額縁 $H = H + 76.5$ 、内額縁 $W = W - 2$

(大) : 外額縁 $H = H + 86.5$ 、内額縁 $W = W - 2$

の設定です。(P.37 参照)

②既設の室内額縁の納まりに合わせて、内額縁を必要に応じて切断します。

【切断方法1】…丸のこを使用する場合

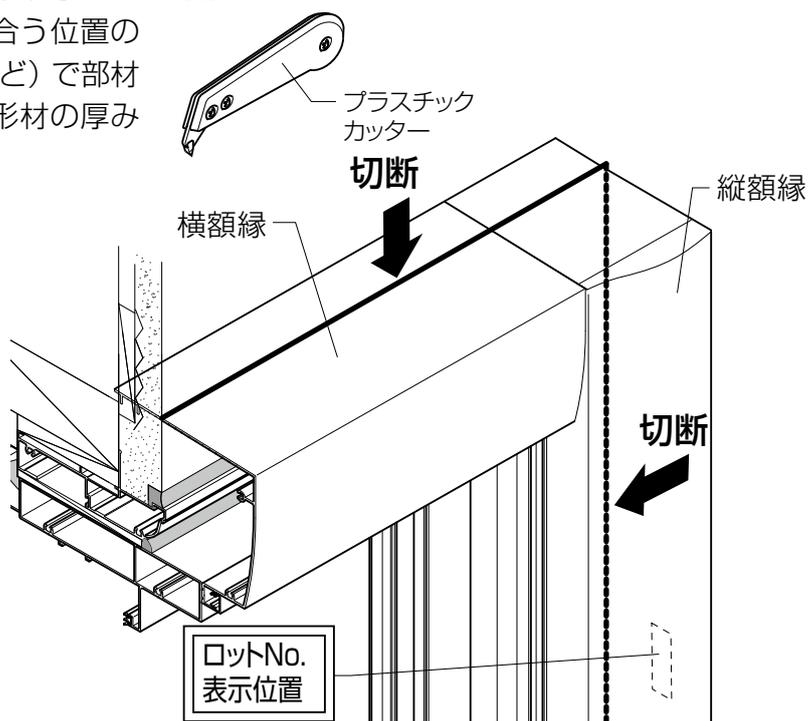
●納まりに合う位置に印を付け、丸のこで切断します。

【切断方法2】…カッター・ペンチを使用する場合

- 外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッターなど）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ型材の厚みを6割以上切込んでください。

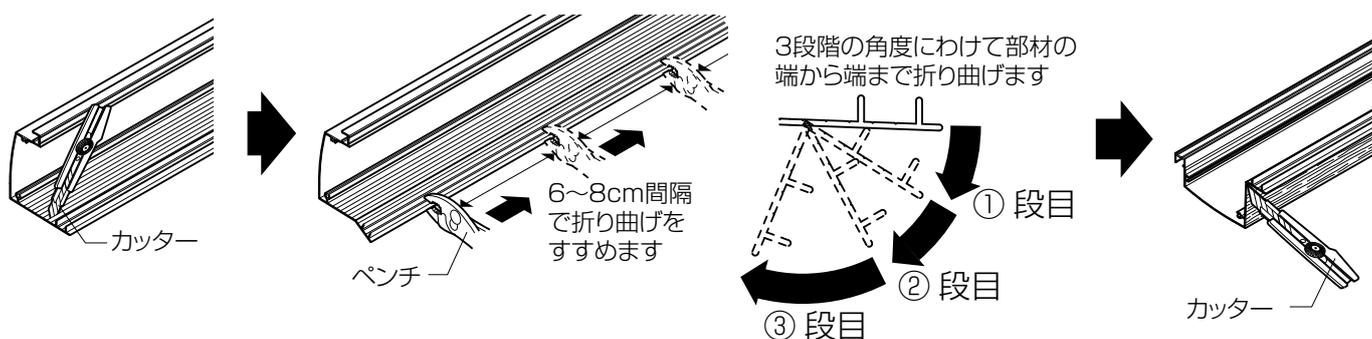
- ペンチ（モンキーレンチなど）で下図のように3段階の角度にわけて折り曲げます。

①段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。同じように②段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、③段目まで折り曲げて切離します。木目色の場合、最後に木目シート1枚でつながっている状態になってからカッターで木目シートを切離してください。



お願い

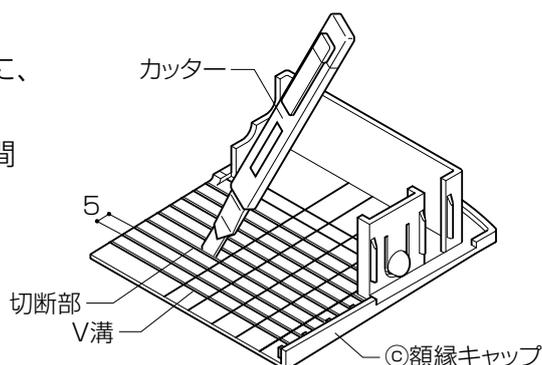
- ※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみの発生や、木目色の場合木目シートがはがれるおそれがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。
- ※サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。木目シートやアルミ表面が焼けるおそれがあります。



2 額縁キャップの切断

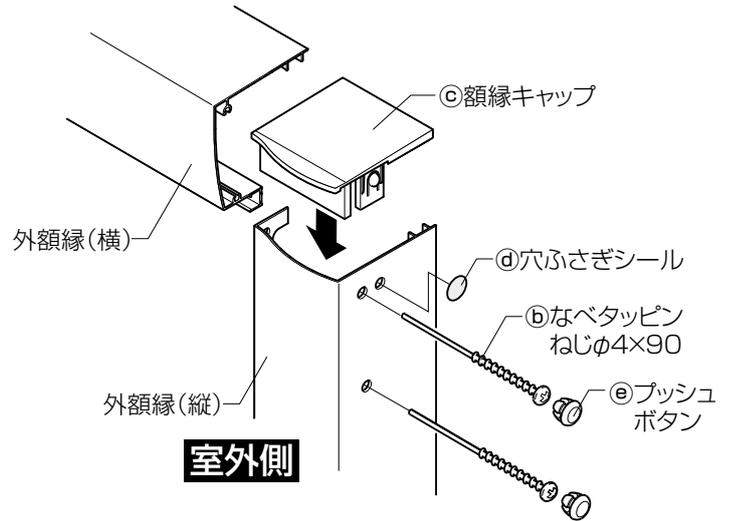
- 納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくるV溝に、カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。

※額縁キャップには、カッターで切りやすいように5mm間隔でV溝が入っています。



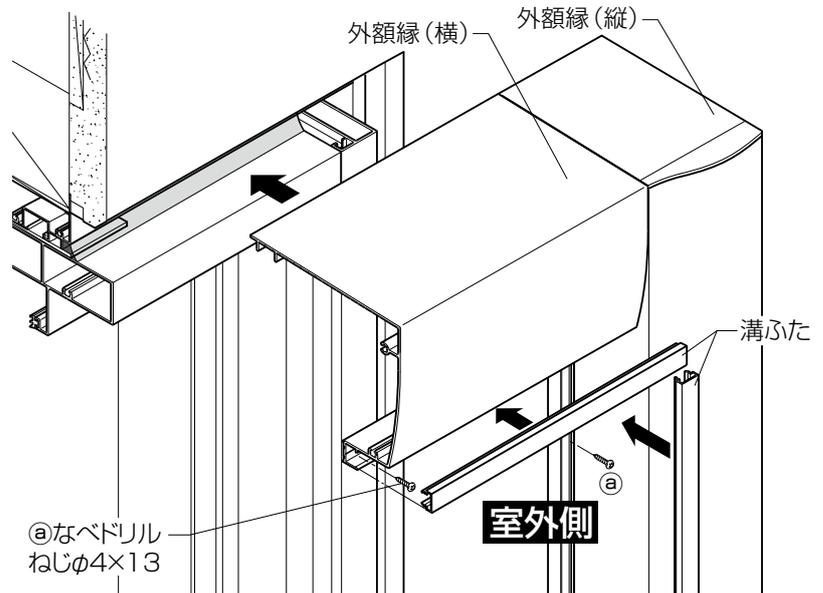
3 外額縁の組立て

- ①外額縁（縦）、（横）、㉔額縁キャップとともに、
㉕なベタッピンねじφ4×90で組立えます。
- ②組立て後、取付ガイド穴に㉖プッシュボタン
を取付けてください。
- ③額縁キャップの固定穴に、㉗穴ふさぎシール
を張付けてください。



4 外額縁の取付け

- ①組立てた外額縁を、㉘なベドリル
ねじφ4×13で枠に取付けます。
 - ②溝ふたを外額縁（縦）、（横）に取
付けます。
- ※溝ふたは、完全にはめ込んだこと
を確認してください。



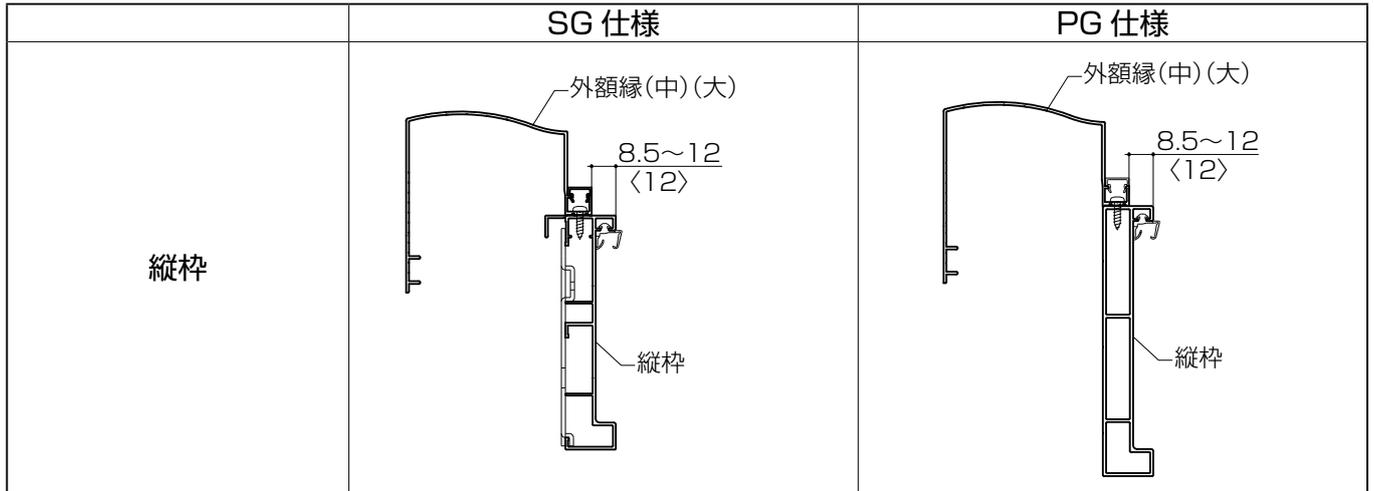
〈外額縁（中）（大）〉

●外額縁の取付けは、各調整範囲内で納めてください。

※ 〈 〉 内は、額縁基本取付け位置

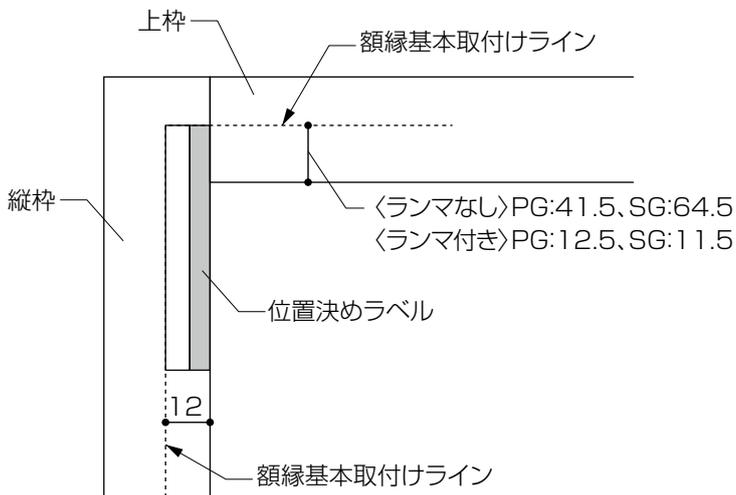
		SG 仕様	PG 仕様
上枠	ランマ付き		
	ランマなし		

※ 〈 〉 内は、額縁基本取付け位置



■位置決めラベルの張付け

※外額縁は、位置決めラベルの  部に重ならない位置に取付けてください。



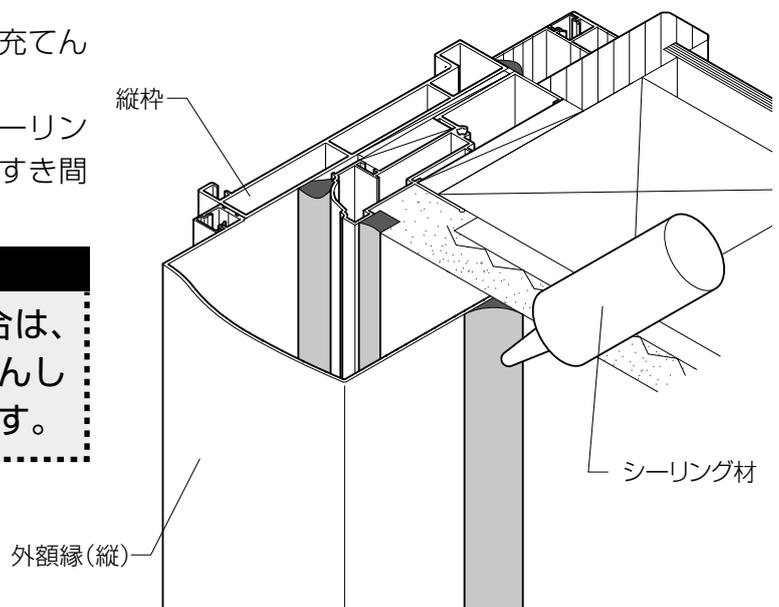
■外周部のシーリング処理

雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。

※下枠部・外額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようすき間を確保してください。

▲ 注 意

- 外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

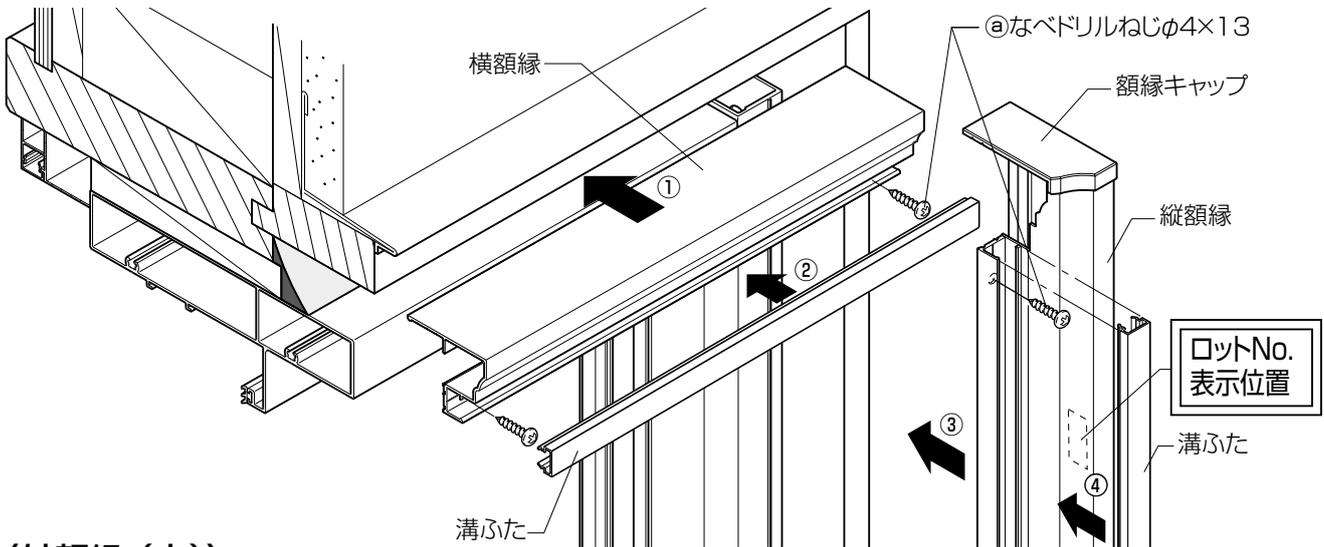
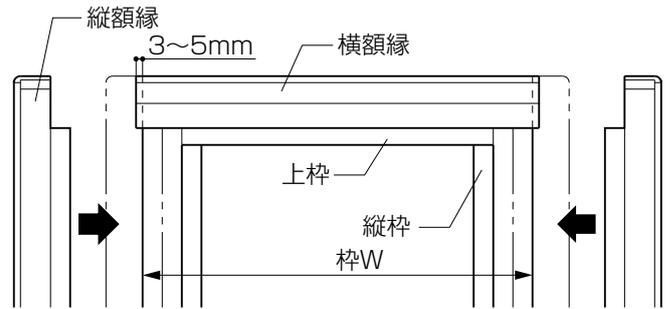
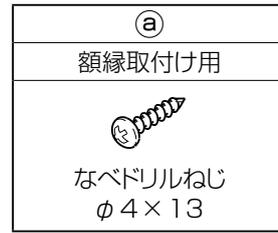


■外額縁（小）の取付け

※外額縁（小）はH、Wで発注した場合、
外額縁 H = H + 21.5、外額縁 W = W + 10
の設定です。（P.37 参照）

- ①現場の納まりに合わせて額縁を切詰めます。
- ※ $\phi 4 \times 13$ なベドリルねじで取付けます。
- ②外壁の納まりに合わせて、外額縁を必要に応じて切断します。
- ※切断方法は外額縁（中）（大）の、【切断方法 1】、【切断方法 2】を参照してください。
- ③横額縁を取付けます。
- ※取付け位置が違くと、縦額縁が取付けられません。
- ④横額縁に溝ふたを取付けます。
- ⑤切欠き部を横額縁にはめて縦額縁を取付けます。
- ⑥縦額縁に溝ふたを取付けます。

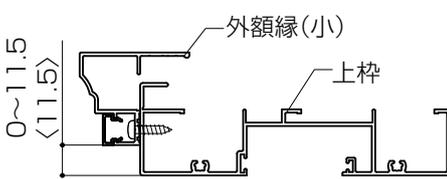
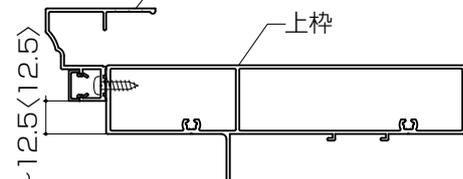
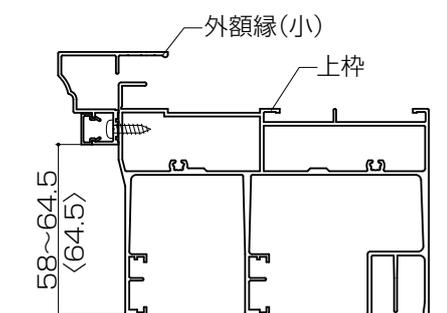
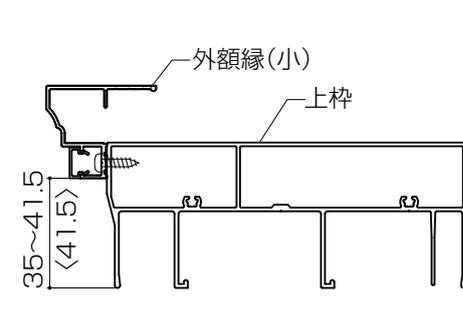
■使用ねじ一覧



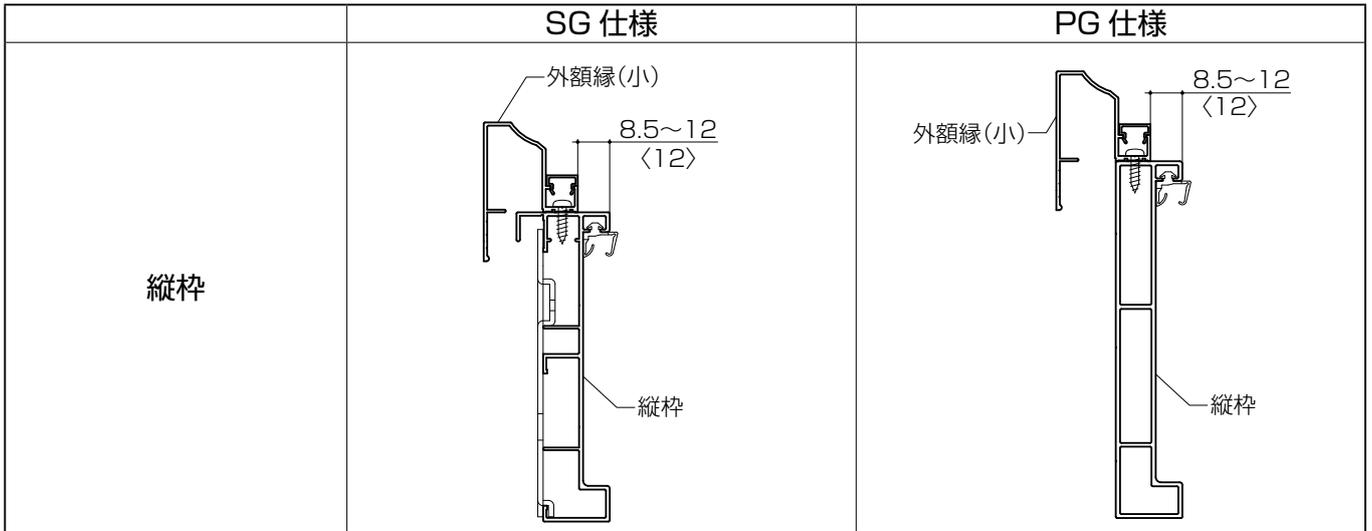
〈外額縁（小）〉

●外額縁の取付けは、各調整範囲内で納めてください。

※ 〈 〉 内は、額縁基本取付け位置

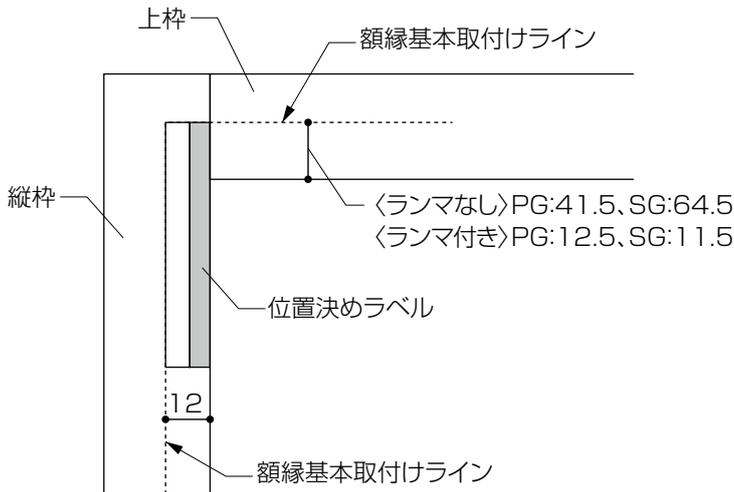
		SG 仕様	PG 仕様
上枠	ランマ付き		
	ランマなし		

※ 〈 〉 内は、額縁基本取付け位置



■位置決めラベルの張付け

※外額縁は、位置決めラベルの 部に重ならない位置に取付けてください。



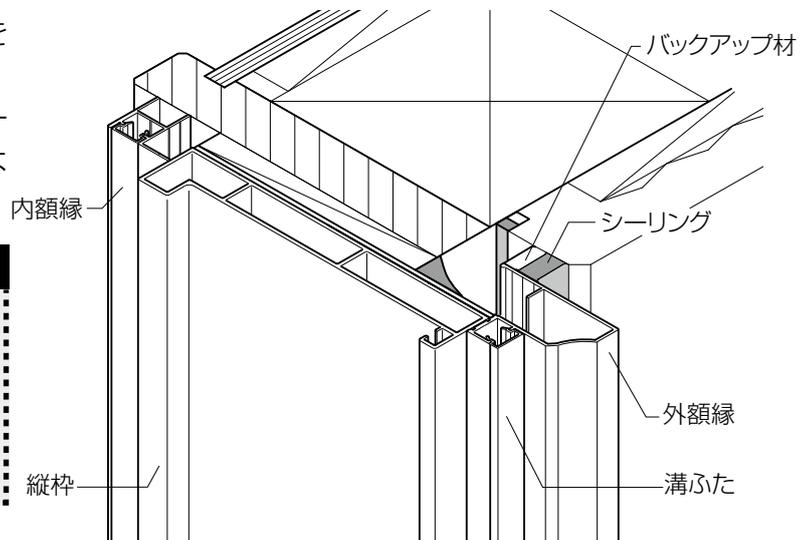
■外周部のシーリング処理

●雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。

※下枠部・外額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようすき間を確保してください。

▲注意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

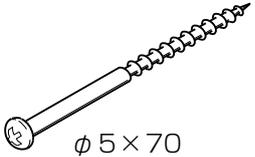


■下枠用Lアングル（別途有償品）の取付け

お願い

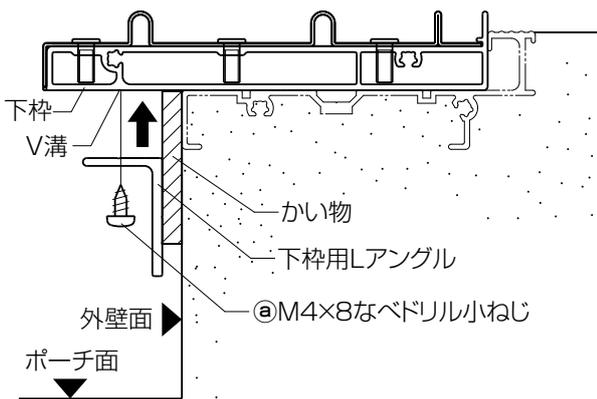
- ※この部材は下枠とポーチ面の立上がりが多い納まりに使用してください。
- ※下枠用Lアングルは、必ず枠組立てと同時に取付けてください。

■使用ねじ一覧

①	②
下枠固定用	躯体（既設枠）固定用
	
M4 × 8 なベドリル小ねじ	φ5 × 70 なべセルフタッピングアンカーねじ

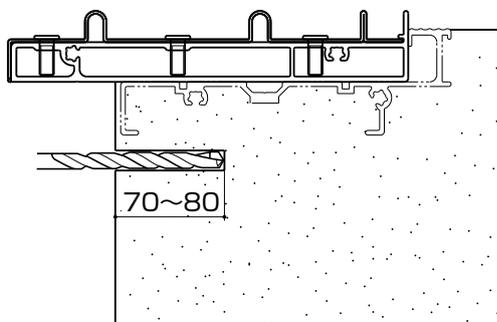
- ①下枠と縦枠を固定し、枠を組立てます。
- ②下枠用Lアングルを下枠のV溝に合わせ、下枠にφ 3.5の下穴をあけます。
- ③① M4 × 8 なベドリル小ねじで下枠用Lアングルを下枠に固定します。
※下枠用Lアングルは、新しい枠を既設の下枠（躯体）に固定する前に取付けてください。
※外壁面と下枠用Lアングルのすき間に合った厚みのかい物を入れてください。
- ④躯体外壁面にドリルでφ 4.3の穴をあけ、②φ 5 × 70 なべセルフタッピングアンカーねじで固定します。

■下枠用Lアングルの取付け



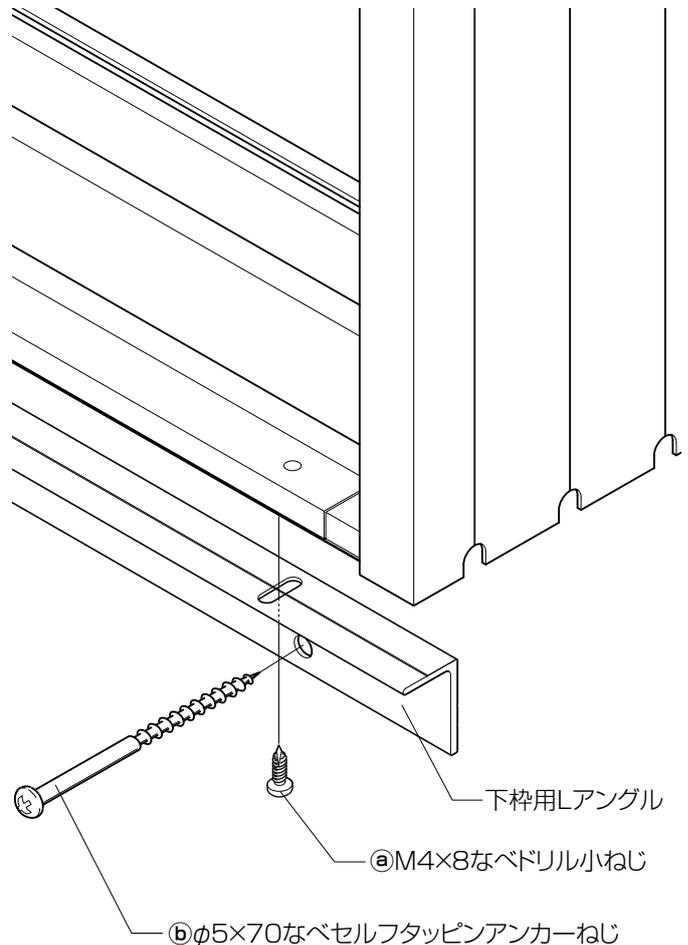
■なべセルフタッピングアンカーねじの取付け

ドリルでφ 4.3の穴をあけます。



▲ 注 意

- かい物を入れる場合は、十分に強度の保てるものを使用してください。



■下柵段差緩和材（別途有償品）の取付け

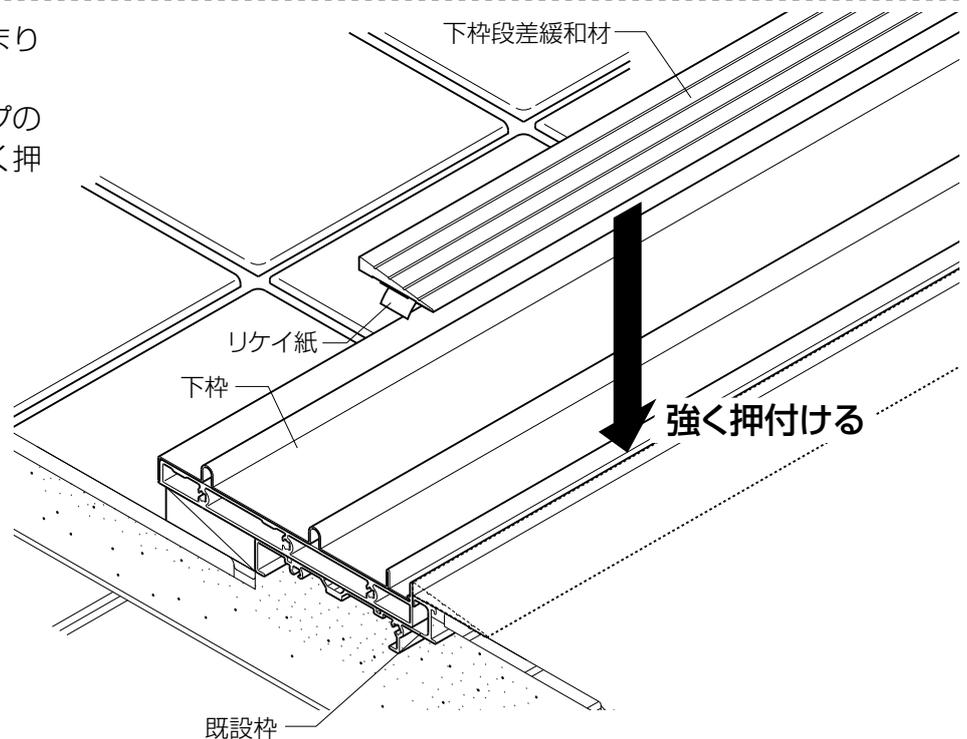
お願い

※この部材は、新しい柵を取付けた際、室内側の土間の段差が大きい場合に使用してください。

▲注意

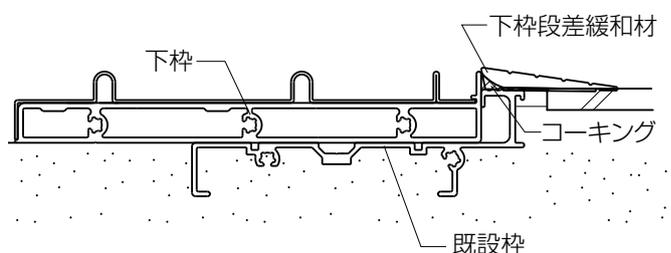
- 下柵段差緩和材の両面テープの接着力が低下し、下柵段差緩和材が外れ、思わぬケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・張直しをしないでください。
- ・取付け前に床を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
- ・床に強く押付け、必ず圧着してください。
- ・接着効果を確保するため、24時間放置してください。

- ①下柵段差緩和材を現場の納まりに合わせて切詰めます。
- ②下柵段差緩和材の両面テープのリケイ紙をはがし、床に強く押付けて圧着してください。



■新しい柵の下柵と床の段差が大きい時

- 段差部分にコーキングし、その上に下柵段差緩和材を固定してください。
- その際、下柵段差緩和材の両面テープのリケイ紙ははがしてください。



リシエント引戸 取付けチェックポイント集

1. 現場チェック項目一覧
2. 現場調査前確認事項
3. 現場調査時確認事項
4. 取付け現場の採寸時確認事項

1. 現場チェック項目一覧

■現場チェック項目一覧

※製品を正しく取付けいただくために、下記項目を必ず確認してください。

	チェック項目	チェック
事前に電話などで確認する項目	取付ける建物の構造は木造土間納まりですか？	はい・いいえ
現場にて確認する項目	取付ける柱への枠の取付けねじのかかり寸法は 20mm 以上ですか？	はい・いいえ
	取付ける柱が腐っていませんか？	はい・いいえ
	既設枠開口周り（外壁など）に漏水のあとはありませんか？	はい・いいえ
	取付ける柱への枠の取付けねじのねじ込みトルクは、1.2N・m（12kgf・cm）以上ですか？	はい・いいえ
	既設枠の開口寸法は、指定箇所を測定した際、製品の切詰め（対応）寸法範囲内ですか？	はい・いいえ
	周辺環境（軒天、入隅納まり）において、製品取付けに支障はありませんか？	はい・いいえ

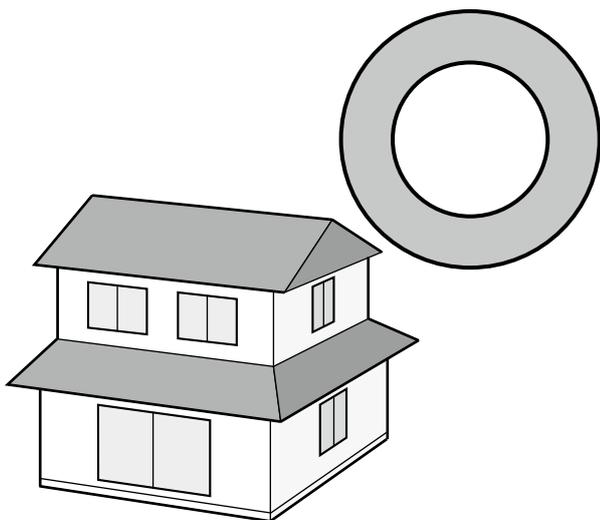
2. 現場調査前確認事項

●リシエント引戸は木造専用です。

※木造以外の躯体構造への取付けはできません。

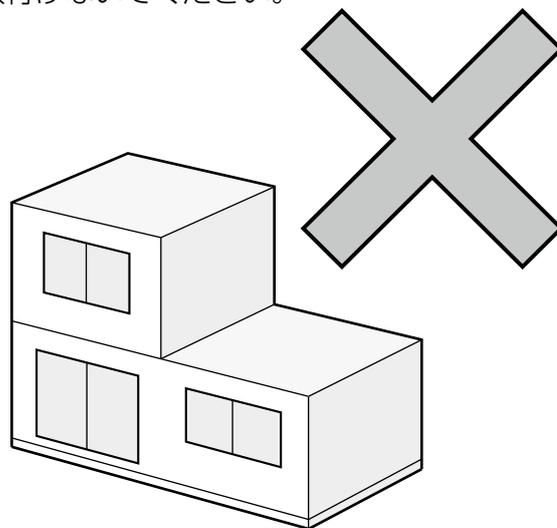
■取付け可

在来木軸工法、204 構造など木造納まりに取付けてください。



■取付け不可

鉄骨造、RC 造、ALC 納まりなどには取付けないでください。

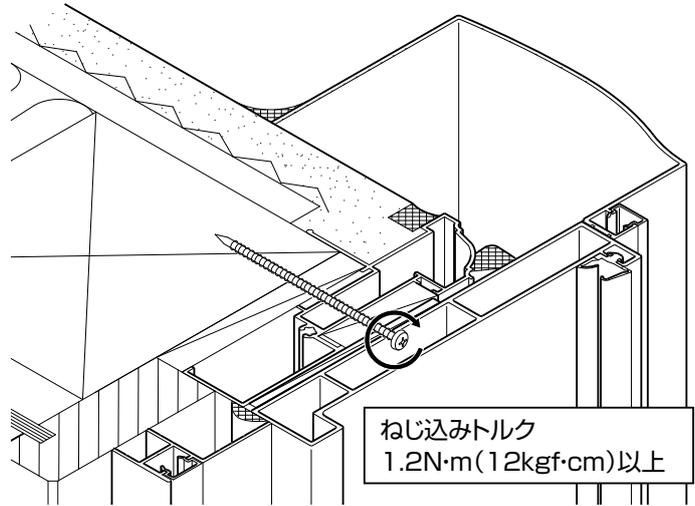
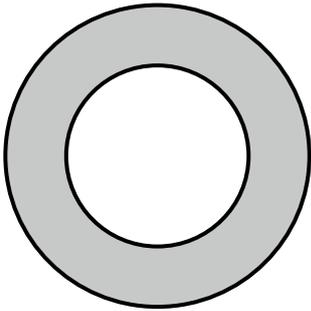


3-1. 現場調査時確認事項

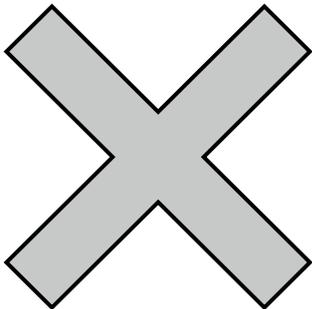
● 躯体取付けねじのねじ込みトルクが $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上あることを確認してください。

■ 取付け可

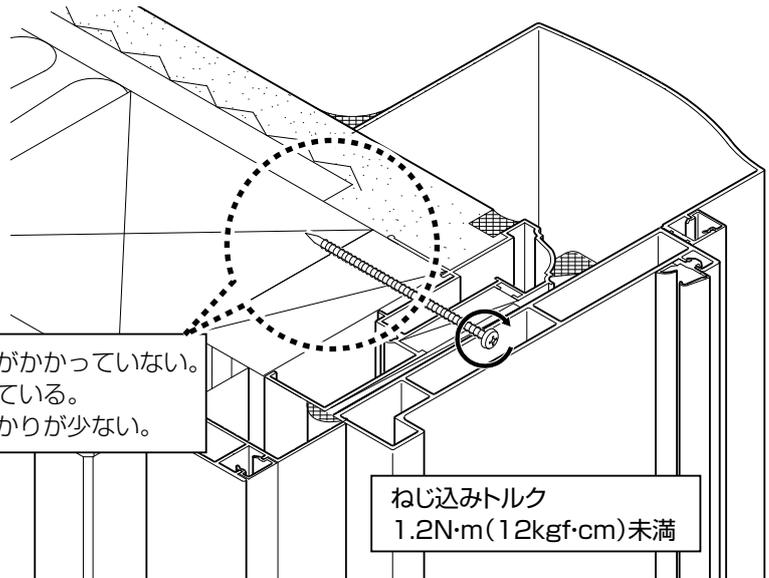
指定のねじ（なべタッピンねじ $\phi 4 \times 60$ ）が上記の柱位置で $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上のねじ込みトルクがあることを確認してください。



■ 取付け不可

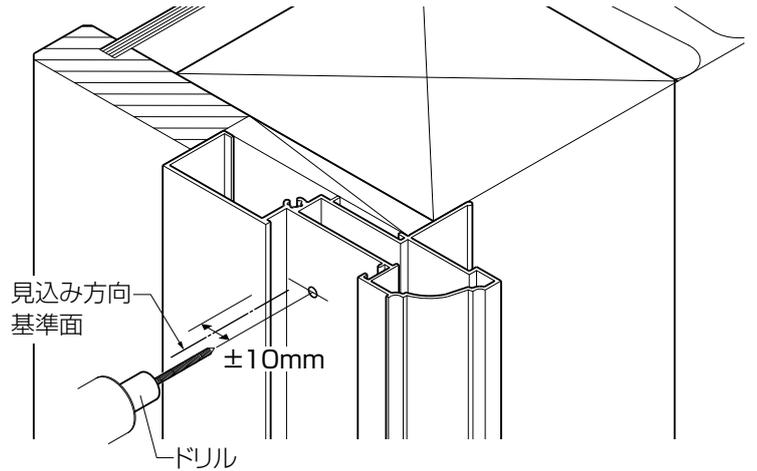


柱にねじがかかっていない。
柱が腐っている。
ねじのかかりが少ない。

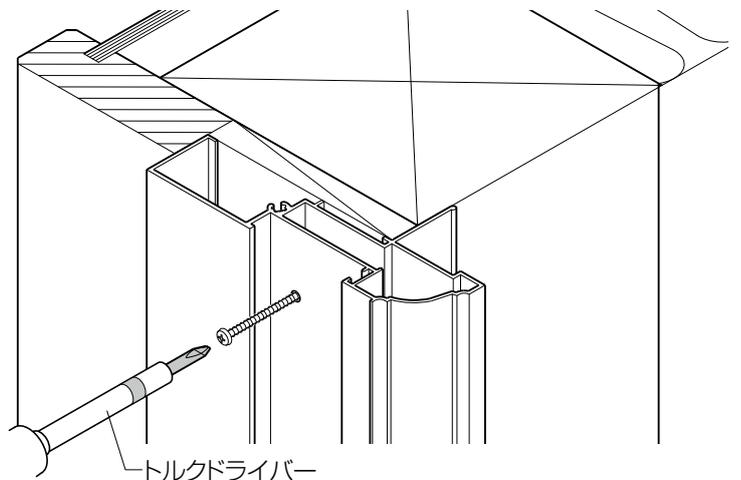


【ねじ込みトルクの確認方法】

- ①新しい枠を取付ける際の既設枠の見込み方向基準面付近±10mmの位置にφ5の穴をあけます。

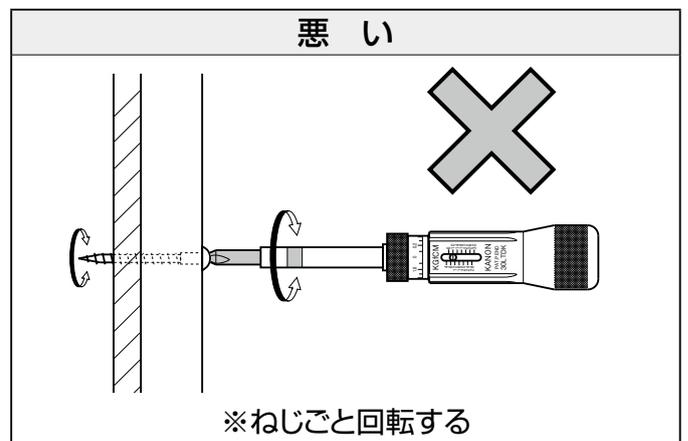
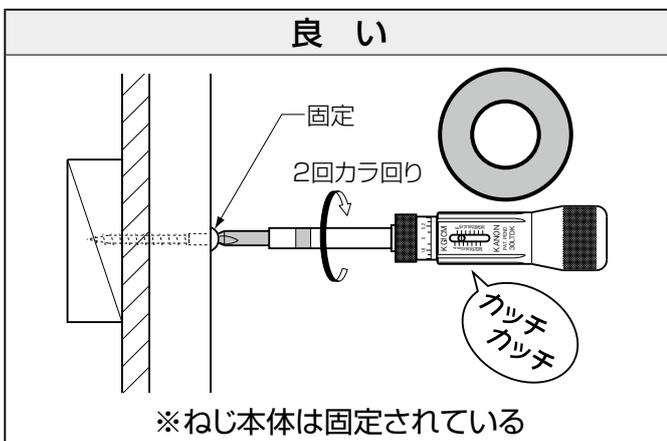
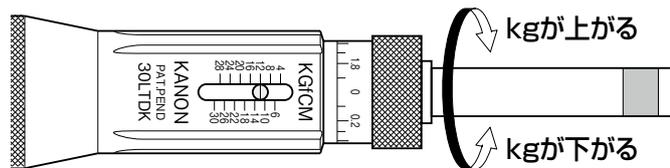


- ②新しい枠の取付けねじ（なべタッピンφ4×60（1種））を用いて取付けます。そのときのねじ込みトルクは、1.2N・m（12kgf・cm）以上であることを確認してください。
※確認後の穴はシーリング処理にて穴をふさいでください。



■トルクドライバー目盛合わせ

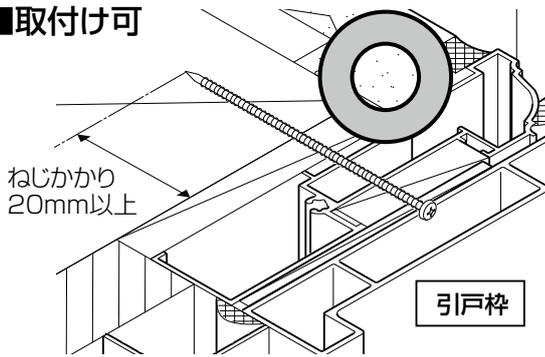
- トルクドライバー目盛り合せ設定
1.2N・m（12kgf・cm）



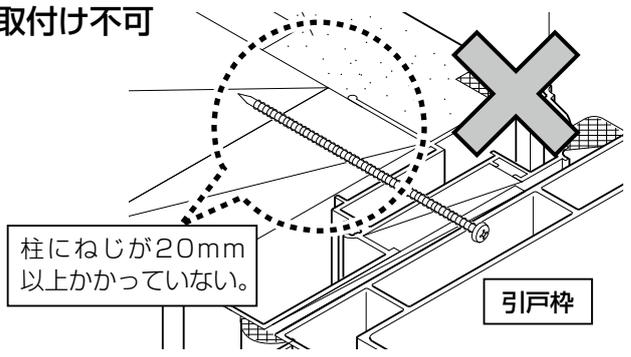
3-2. 現場調査時確認事項

● 枠取付けねじは柱（躯体）に 20mm 以上かかることを確認してください。

■ 取付け可

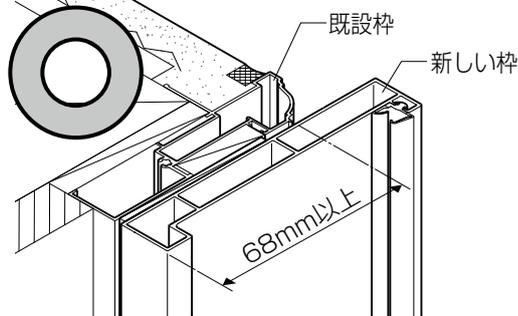


■ 取付け不可

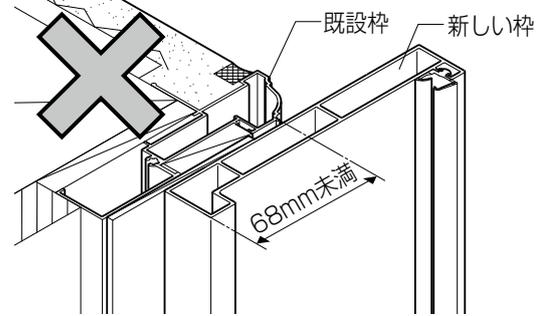


● 新しい枠は既設枠に 68mm 以上かかることを確認してください。

■ 取付け可



■ 取付け不可

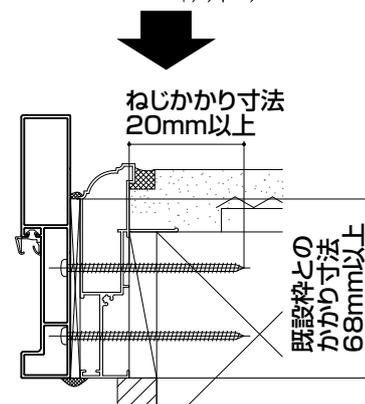
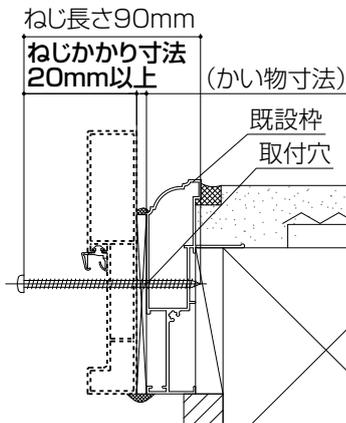


〔ねじかかり寸法の確認方法〕

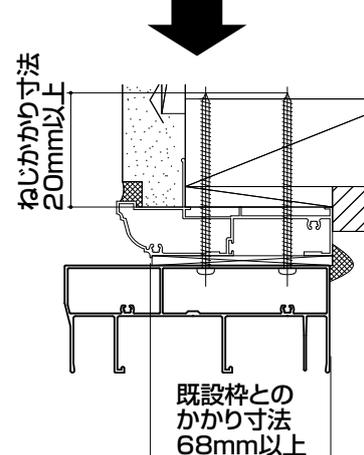
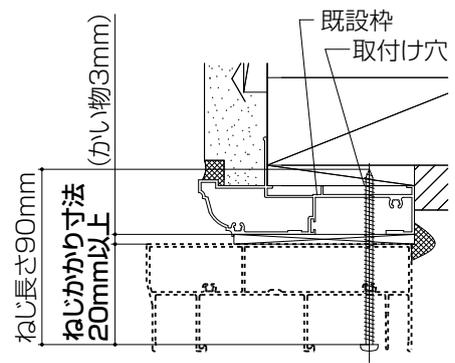
ねじ込みトルクの確認時にあけた既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが 20mm 以上であることを確認してください。

※ねじ長さ 90mm

（縦枠の場合）



（上枠の場合）



4. 取付け現場の採寸時確認事項

①製品製作範囲による条件

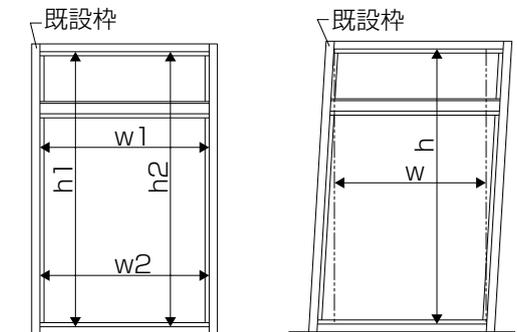
●既設枠開口部の寸法測定を行い、製品基本寸法を算出し、寸法特注範囲内であることを確認してください。

■製品基本寸法設定

●右図のように既設枠にゆがみがある場合は、水平垂直での寸法を測定してください。

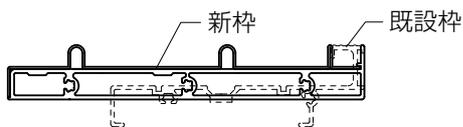
※既設枠開口寸法は、 $h \cdot w$ とも各2箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。

製品基本寸法は既設開口寸法よりHは5mm、Wは10mm程度小さくします。

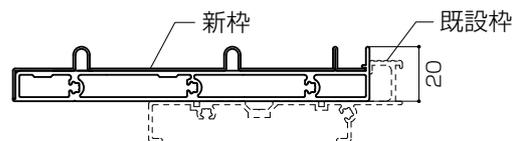


既設枠開口寸法	換算公式		製品基本寸法
h 1 :	既設下枠を取外して納める場合 (A)	$H=h(\text{小さい方})-e+15$	H :
h 2 :	既設下枠の上に納める場合 (B)	$H=h(\text{小さい方})-5$	H :
w 1 :	—	$W=w(\text{小さい方})-10$	W :
w 2 :			

(A) 既設下枠を取外して納める場合



(B) 既設下枠の上に納める場合



②既設枠形状による条件

a:	
b:	
c:	
d:	
e:	
f:	
g:	

外額縁 (大)	$a \leq 81$ 、 $b \leq 96$ 、 $c \leq 157$ (PG)、 138 (SG) のとき取付け可能。	($f \leq 91$ まで対応可能。)
外額縁 (中)	$a \leq 72$ 、 $b \leq 76$ 、 $c \leq 158$ (PG)、 140 (SG) のとき取付け可能。	($f \leq 64$ まで対応可能。)
外額縁 (小)	$a \leq 16$ 、 $b \leq 19$ 、 $c \leq 133$ (PG)、 115 (SG) のとき取付け可能。	($f \leq 19$ まで対応可能。)
※ d (新枠と既存枠とのかかり寸法) ≥ 68 のこと。 ※ g (新枠と既存枠とのかかり寸法) ≥ 33.5 (PG)、 30 (SG) のこと。		

※外額縁・内額縁の形状・寸法は納まり図を参照してください。

●縦断面図

〈外額縁・内額縁の基本寸法〉

外額縁H = H+B

外額縁W = W+(2×C)

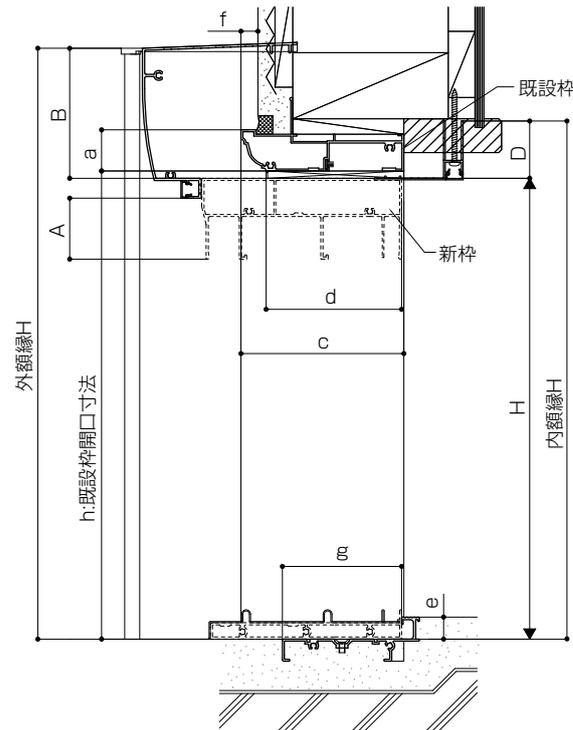
内額縁H = H+D

内額縁W = W+(2×E)

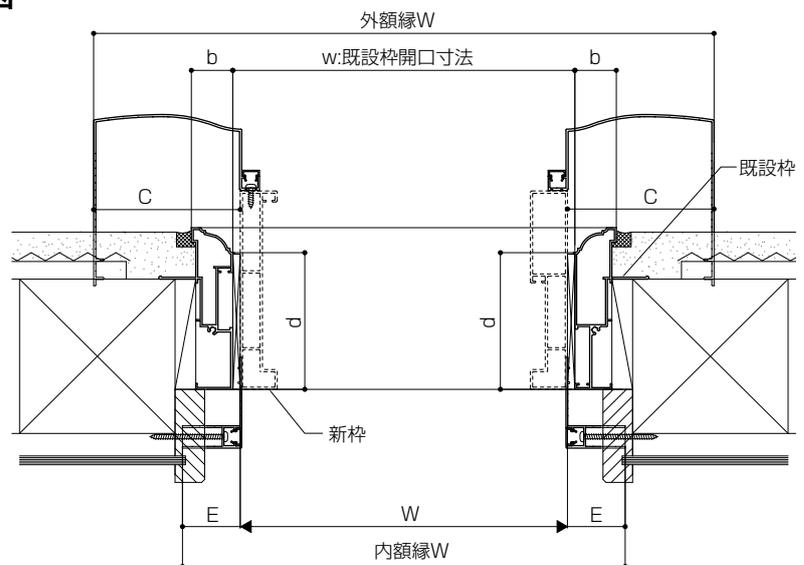
	PG	SG
A	41.5	64.5

	外額縁小	外額縁中	外額縁大
B	21.5	78.5	88.5
C	22.3	79	99

	外額縁小	外額縁大
D	22	39
E	22	39



●縦断面図



③周辺環境による条件

●軒天に化粧額縁が接触する、入隅納まり時に化粧額縁が外壁と干渉するなどを採寸時にあわせて確認してください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-4134-33 FAX.☎0120-4134-36

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号	MAM-713B	事業所コード	ZZB2	2013.2.1 発行
------	----------	--------	------	-------------

